

岐阜県県有建物長寿命化計画（素案）

平成 年 月

岐阜県

目 次

第1章 計画の位置づけ等

| | |
|------------|---|
| 1 策定の目的 | 1 |
| 2 本計画の位置づけ | 4 |
| 3 計画期間 | 5 |
| 4 対象とする施設 | 5 |

第2章 施設の状況

| | |
|------------------|----|
| 1 各施設の利用の現況 | 7 |
| (1) 高等学校・特別支援学校 | 7 |
| (2) 警察施設 | 7 |
| (3) その他の施設 | 8 |
| 2 各施設の劣化の状況 | 10 |
| (1) 躯体の強度 | 10 |
| (2) 主要部位の劣化状態の調査 | 11 |

第3章 取組みの方向性と内容

| | |
|-----------------------|----|
| 1 取組みの方向性 | 13 |
| 2 取組みの内容 | 13 |
| (1) 長寿命化に向けた維持管理 | 13 |
| (2) 再整備 | 15 |
| (3) 施設保有の最適化（集約化、廃止等） | 15 |
| (4) 対策のフォローアップと推進体制 | 16 |

第4章 対策の内容と実施時期、概算費用

17

個別施設毎の計画 目次

(庁舎・事務所)

| | |
|---------------|----|
| ・ 岐阜県庁舎 | 18 |
| ・ シンクタンク庁舎 | 19 |
| ・ 西濃総合庁舎 | 20 |
| ・ 揖斐総合庁舎 | 21 |
| ・ 可茂総合庁舎 | 22 |
| ・ 中濃総合庁舎 | 23 |
| ・ 郡上総合庁舎 | 24 |
| ・ 東濃西部総合庁舎 | 25 |
| ・ 恵那総合庁舎 | 26 |
| ・ 飛騨総合庁舎 | 27 |
| ・ 下呂総合庁舎 | 28 |
| ・ 自動車税事務所 | 29 |
| ・ 食肉衛生検査所 | 30 |
| ・ 西濃子ども相談センター | 31 |
| ・ 飛騨子ども相談センター | 32 |
| ・ 計量検定所 | 33 |
| ・ 中央家畜保健衛生所 | 34 |
| ・ 古川土木事務所 | 35 |

(試験研究機関)

| | |
|----------------|------|
| ・ 岐阜県健康科学センター | 36 |
| ・ 人材開発支援センター | 37 |
| ・ 工業技術研究所 | 38 |
| ・ セラミックス研究所 | 39 |
| ・ 生活技術研究所 | 40 |
| ・ アネックス・テクノ2 | 41 |
| ・ 農業技術センター | 42 |
| ・ 中山間農業研究所 | 43 |
| ・ 畜産研究所 | |
| (本所) | 44 |
| (養豚・養鶏研究部関試験地) | 44-2 |
| (養豚・養鶏研究部) | 44-3 |
| (酪農研究部) | 44-4 |
| ・ 水産研究所 | 45 |
| ・ 森林研究所 | 46 |

(福祉施設)

| | |
|-------------------|----|
| ・ 岐阜県福祉・農業会館 | 47 |
| ・ 希望が丘こども医療福祉センター | 48 |
| ・ 岐阜県立寿楽苑 | 49 |
| ・ 岐阜県立飛騨寿楽苑 | 50 |
| ・ 岐阜県立陽光園 | 51 |
| ・ 岐阜県立三光園 | 52 |
| ・ 岐阜県立サニーヒルズみずなみ | 53 |
| ・ 岐阜県立幸報苑 | 54 |
| ・ 岐阜県立ひまわりの丘学園 | 55 |
| ・ 岐阜県立みどり荘 | 56 |
| ・ 岐阜県立はなの木苑 | 57 |
| ・ 障がい者総合相談センター | 58 |
| ・ 岐阜県福祉友愛プール | 59 |
| ・ わかあゆ学園 | 60 |
| ・ 白鳩学園 | 61 |

(教育・文化・体育施設)

| | |
|----------|----|
| ・ 歴史資料館 | 62 |
| ・ 岐阜アリーナ | 63 |

| | |
|-----------------------|------|
| ・ 岐阜メモリアルセンター | 64 |
| ・ 長良川スポーツプラザ | 65 |
| ・ 長良川球技場 | 66 |
| ・ 岐阜県グリーンスタジアム | 67 |
| ・ 川辺漕艇場 | 68 |
| ・ 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場 | 69 |
| ・ 御嶽濁河高地トレーニングセンター | 70 |
| ・ 防災交流センター | 71 |
| ・ 広域防災センター | 72 |
| ・ 消防学校 | 73 |
| ・ 飛騨・北アルプス自然文化センター | 74 |
| ・ 岐阜県県民ふれあい会館 | 75 |
| ・ 飛騨・世界生活文化センター | 76 |
| ・ ぎふ清流文化プラザ | 77 |
| ・ 岐阜県図書館 | 78 |
| ・ 文化財保護センター | 79 |
| ・ 博物館 | 80 |
| ・ 岐阜県先端科学技術体験センター | 81 |
| ・ 美術館 | 82 |
| ・ 衛生専門学校 | 83 |
| ・ 多治見看護専門学校 | 84 |
| ・ 下呂看護専門学校 | 85 |
| ・ 岐阜産業会館 | 86 |
| ・ 国際たくみアカデミー | 87 |
| ・ 木工芸術スクール | 88 |
| ・ ソフトピアジャパンセンター | 89 |
| ・ ソフトピアジャパン・アネックス | 90 |
| ・ ソフトピアジャパン・ドリーム・コア | 91 |
| ・ ソフトピアジャパン・ワークショップ24 | 92 |
| ・ 大学院大学 学生寮 (R I S T) | 93 |
| ・ 科学技術振興センター | 94 |
| ・ セラミックパークMINO | 95 |
| ・ 農業大学校 | 96 |
| ・ 岐阜県立国際園芸アカデミー | 97 |
| ・ 東濃・飛騨牧場 | |
| (東濃牧場) | 98 |
| (飛騨牧場) | 98-2 |
| ・ 森林文化アカデミー | 99 |
| ・ 岐阜県総合教育センター | 100 |

(警察施設)

| | |
|----------------|-----|
| ・ 岐阜県警察本部 | 101 |
| ・ 藪田分庁舎 1 | 102 |
| ・ 藪田分庁舎 2 | 103 |
| ・ 穂積分庁舎 | 104 |
| ・ 警察学校 | 105 |
| ・ 緊急指揮所 | 106 |
| ・ 警察車両整備センター | 107 |
| ・ 警察武道館 | 108 |
| ・ 運転教育センター | 109 |
| ・ 西濃運転者講習センター | 110 |
| ・ 中濃運転者講習センター | 111 |
| ・ 多治見運転者講習センター | 112 |
| ・ 岐阜中警察署 | 113 |
| ・ 岐阜南警察署 | 114 |
| ・ 岐阜北警察署 | 115 |
| ・ 各務原警察署 | 116 |
| ・ 岐阜羽島警察署 | 117 |
| ・ 北方警察署 | 118 |

| | |
|----------|-----|
| ・ 山県警察署 | 119 |
| ・ 大垣警察署 | 120 |
| ・ 海津警察署 | 121 |
| ・ 養老警察署 | 122 |
| ・ 垂井警察署 | 123 |
| ・ 揖斐警察署 | 124 |
| ・ 関警察署 | 125 |
| ・ 郡上警察署 | 126 |
| ・ 加茂警察署 | 127 |
| ・ 可児警察署 | 128 |
| ・ 多治見警察署 | 129 |
| ・ 中津川警察署 | 130 |
| ・ 恵那警察署 | 131 |
| ・ 高山警察署 | 132 |
| ・ 下呂警察署 | 133 |
| ・ 飛騨警察署 | 134 |

(高等学校・特別支援学校)

| | |
|--------------|-----|
| ・ 岐阜高等学校 | 135 |
| ・ 岐阜北高等学校 | 136 |
| ・ 長良高等学校 | 137 |
| ・ 岐山高等学校 | 138 |
| ・ 加納高等学校 | 139 |
| ・ 羽島北高等学校 | 140 |
| ・ 岐阜総合学園高等学校 | 141 |
| ・ 岐阜城北高等学校 | 142 |
| ・ 岐阜商業高等学校 | 143 |
| ・ 岐南工業高等学校 | 144 |
| ・ 各務原高等学校 | 145 |
| ・ 各務原西高等学校 | 146 |
| ・ 岐阜各務野高等学校 | 147 |
| ・ 本巣松陽高等学校 | 148 |
| ・ 岐阜農林高等学校 | 149 |
| ・ 山県高等学校 | 150 |
| ・ 羽島高等学校 | 151 |
| ・ 岐阜工業高等学校 | 152 |
| ・ 揖斐高等学校 | 153 |
| ・ 池田高等学校 | 154 |
| ・ 大垣北高等学校 | 155 |
| ・ 大垣南高等学校 | 156 |
| ・ 大垣東高等学校 | 157 |
| ・ 大垣西高等学校 | 158 |
| ・ 大垣養老高等学校 | 159 |
| ・ 大垣商業高等学校 | 160 |
| ・ 大垣工業高等学校 | 161 |
| ・ 大垣桜高等学校 | 162 |
| ・ 不破高等学校 | 163 |
| ・ 海津明誠高等学校 | 164 |
| ・ 郡上北高等学校 | 165 |
| ・ 郡上高等学校 | 166 |
| ・ 武義高等学校 | 167 |
| ・ 関有知高等学校 | 168 |
| ・ 関高等学校 | 169 |
| ・ 加茂高等学校 | 170 |
| ・ 加茂農林高等学校 | 171 |
| ・ 八百津高等学校 | 172 |
| ・ 東濃高等学校 | 173 |
| ・ 東濃実業高等学校 | 174 |
| ・ 可児高等学校 | 175 |

| | |
|----------------------|-------|
| ・ 可児工業高等学校 | 176 |
| ・ 多治見高等学校 | 177 |
| ・ 多治見北高等学校 | 178 |
| ・ 多治見工業高等学校 | 179 |
| ・ 瑞浪高等学校 | 180 |
| ・ 土岐紅陵高等学校 | 181 |
| ・ 土岐商業高等学校 | 182 |
| ・ 恵那高等学校 | 183 |
| ・ 恵那南高等学校 | 184 |
| ・ 恵那農業高等学校 | 185 |
| ・ 中津高等学校 | 186 |
| ・ 坂下高等学校 | 187 |
| ・ 中津商業高等学校 | 188 |
| ・ 中津川工業高等学校 | 189 |
| ・ 益田清風高等学校 | 190 |
| ・ 斐太高等学校 | 191 |
| ・ 飛騨高山高等学校 | 192 |
| ・ 高山工業高等学校 | 193 |
| ・ 吉城高等学校 | 194 |
| ・ 飛騨神岡高等学校 | 195 |
| ・ 華陽フロンティア高等学校 | 196 |
| ・ 東濃フロンティア高等学校 | 197 |
| ・ 岐阜盲学校 | 198 |
| ・ 岐阜聾学校 | 199 |
| ・ 長良特別支援学校 | 200 |
| ・ 岐阜希望が丘特別支援学校 | 201 |
| ・ 岐阜清流高等特別支援学校 | 202 |
| ・ 岐阜本巣特別支援学校 | 203 |
| ・ 羽島特別支援学校 | 204 |
| ・ 揖斐特別支援学校 | 205 |
| ・ 大垣特別支援学校 | 206 |
| ・ 海津特別支援学校 | 207 |
| ・ 郡上特別支援学校 | 208 |
| ・ 関特別支援学校 | 209 |
| ・ 中濃特別支援学校 | 210 |
| ・ 可茂特別支援学校 | 211 |
| ・ 東濃特別支援学校 | 212 |
| ・ 恵那特別支援学校 | 213 |
| ・ 下呂特別支援学校 | 214 |
| ・ 飛騨特別支援学校（本校） | 215 |
| ・ 飛騨特別支援学校（日赤分校） | 216 |
| ・ 飛騨吉城特別支援学校 | 217 |
| | |
| （その他の施設） | |
| ・ 岐阜県防災航空センター | 218 |
| ・ 南飛騨・健康増進センター | 219 |
| ・ 岐阜県厚生連 貸付財産 | 220 |
| ・ 大垣市医師会看護専門学校 貸付財産 | 221 |
| ・ アクティブG | 222 |
| ・ （一財）岐阜県魚苗センター 貸付財産 | |
| （岐阜県魚苗センター美濃事務所） | 223 |
| （岐阜県魚苗センター関事務所） | 223-2 |

第1章 計画の位置づけ等

1 策定の目的

本県の公共施設等（庁舎や学校等の建物及び道路等のインフラ施設）は、高度経済成長期に整備されたものが多く、これから大量に更新時期を迎えることから、大規模な改修や建替えのための経費の増大が見込まれる。また、人口減少や少子高齢化の進展等により、今後、公共施設等の利用需要が変化していくことも予想される。

こうした中、公共施設等の計画的・効率的な修繕や更新等により、施設の長寿命化や財政負担の最小化・平準化を図るとともに、人口減少等を踏まえた公共施設等の最適な配置を実現するため、平成27年8月に「岐阜県公共施設等総合管理基本方針（以下、「基本方針」という。）」を策定した。

本基本方針では、公共施設等の点検・診断や維持保全・再整備等の実施方針など、県が所有する公共施設等の管理に関する基本的な考え方のほか、全庁的な取組み体制の構築など、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を定めたところである。

本計画は、この基本方針の推進にあたり、庁舎等建物の維持保全等に係る将来見通し等を踏まえながら、維持保全や更新、更には施設の複合化・集約化を着実に推進するための個別施設毎の具体の対応方針を定めるものである。

<参考：施設保有量と将来見通し>

◆施設保有量

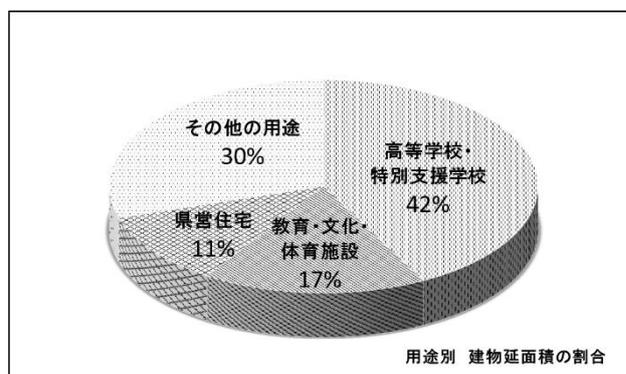
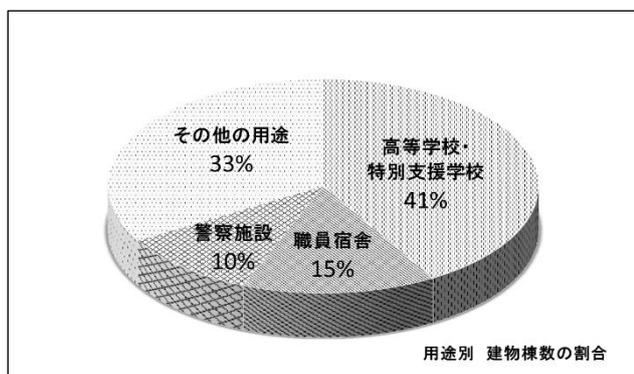
- ・建物は、平成 28 年度末現在で 5,642 棟（倉庫、車庫などを含む。）、延面積で約 244 万㎡、平均築年数は 31.8 年となっている。（図表 1-1）
- ・用途別延面積の割合は、高等学校・特別支援学校が約 4 割を占め、次いで教育・文化・体育施設、県営住宅の順となっており、これらの用途で全体の約 7 割を占めている。（図表 1-1）

◆建物の老朽化の状況と今後の見通し

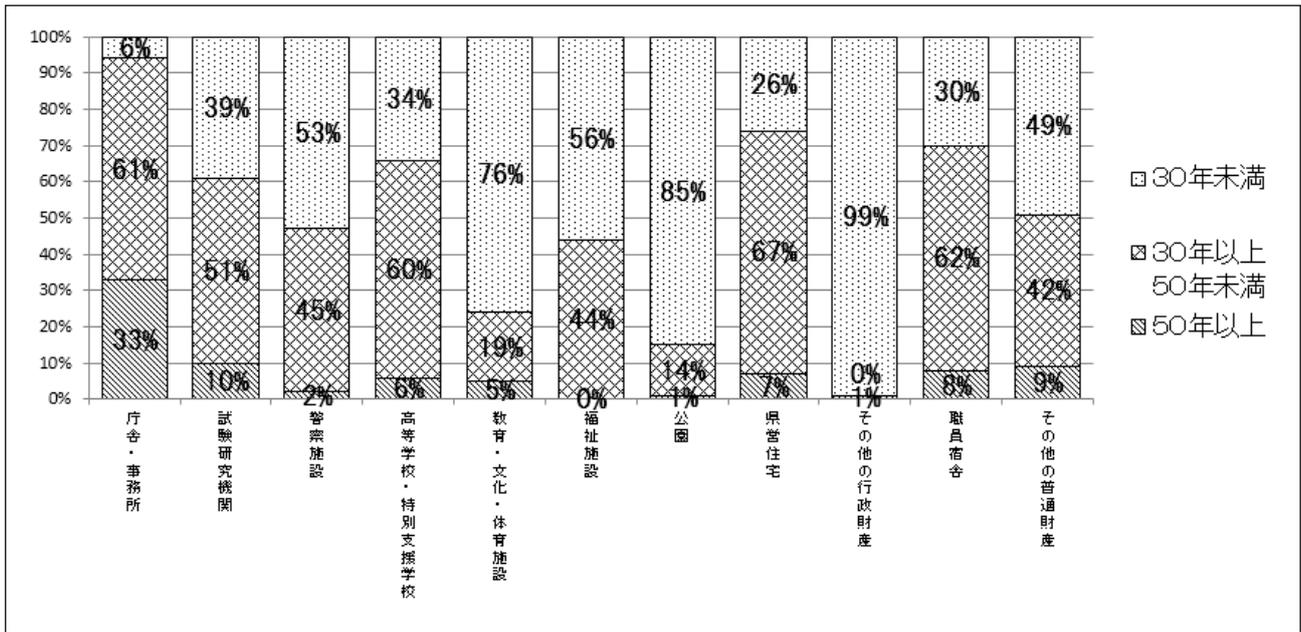
- ・用途別建築年数によると、平成 28 年度末現在で、庁舎・事務所については、建築後 30 年以上経過したものが延面積で 9 割を超えている。（図表 1-2）
- ・全施設のうち、建築後 50 年以上経過した建物は、今後、新築や除却がないものと仮定して推計した場合、10 年後（平成 38 年度）には約 4 割、20 年後（平成 48 年度）には約 6 割に達する。（図表 1-3）

【図表 1-1】用途別建物棟数・延面積、平均築年数（平成 28 年度末現在）

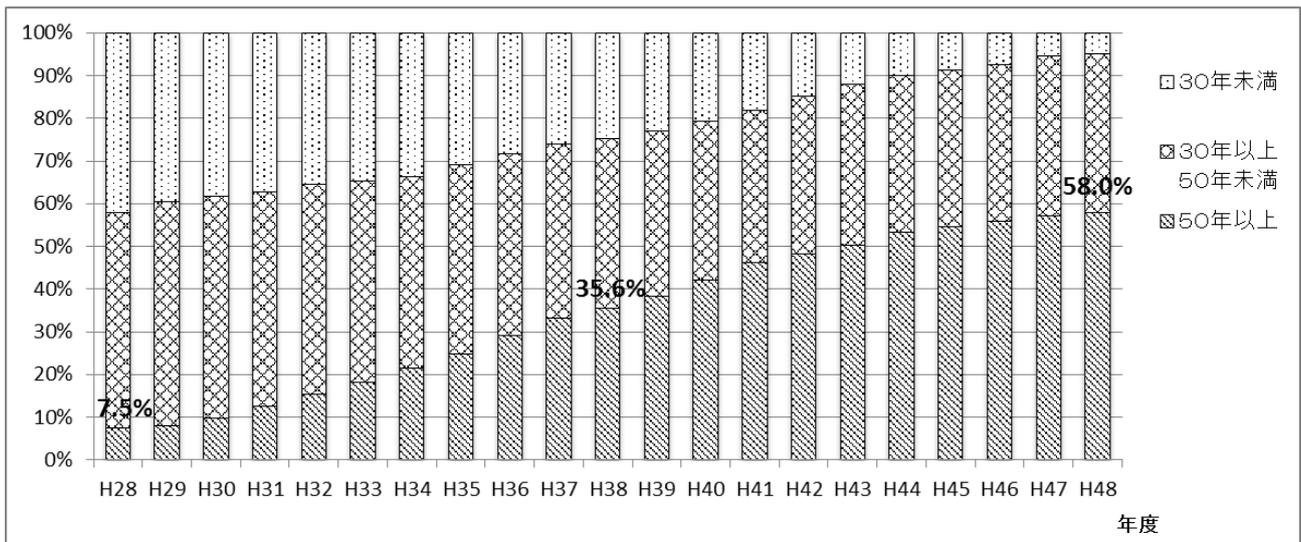
| 区分 | 用途 | 棟数 | | 延面積(㎡) | | 平均築年数(年) |
|------|-----------------|-------|--------|--------------|--------|----------|
| | | | 構成比 | | 構成比 | |
| 行政財産 | 庁舎・事務所 | 251 | 4.4% | 151,352.94 | 6.2% | 36.7 |
| | 試験研究機関 | 285 | 5.1% | 75,428.23 | 3.1% | 38.3 |
| | 警察施設 | 588 | 10.4% | 130,562.01 | 5.3% | 28.8 |
| | 高等学校・特別支援学校 | 2,342 | 41.5% | 1,034,250.46 | 42.4% | 30.9 |
| | 教育・文化・体育施設 | 363 | 6.4% | 411,671.35 | 16.8% | 32.2 |
| | 福祉施設 | 165 | 2.9% | 71,592.00 | 2.9% | 29.0 |
| | 公園 | 288 | 5.1% | 36,965.76 | 1.5% | 22.8 |
| | 県営住宅 | 351 | 6.2% | 270,350.61 | 11.1% | 33.9 |
| | その他の行政財産 | 65 | 1.2% | 26,335.56 | 1.1% | 24.1 |
| 普通財産 | 職員宿舎 | 821 | 14.6% | 159,398.14 | 6.5% | 36.3 |
| | その他の普通財産(貸付財産等) | 123 | 2.2% | 76,846.02 | 3.1% | 37.2 |
| 総計 | | 5,642 | 100.0% | 2,444,753.08 | 100.0% | 31.8 |



【図表 1-2】用途別建築年数の比較【延面積割合の場合】（平成 28 年度末現在）



【図表 1-3】建築後 50 年以上経過する建物の延面積割合の推計



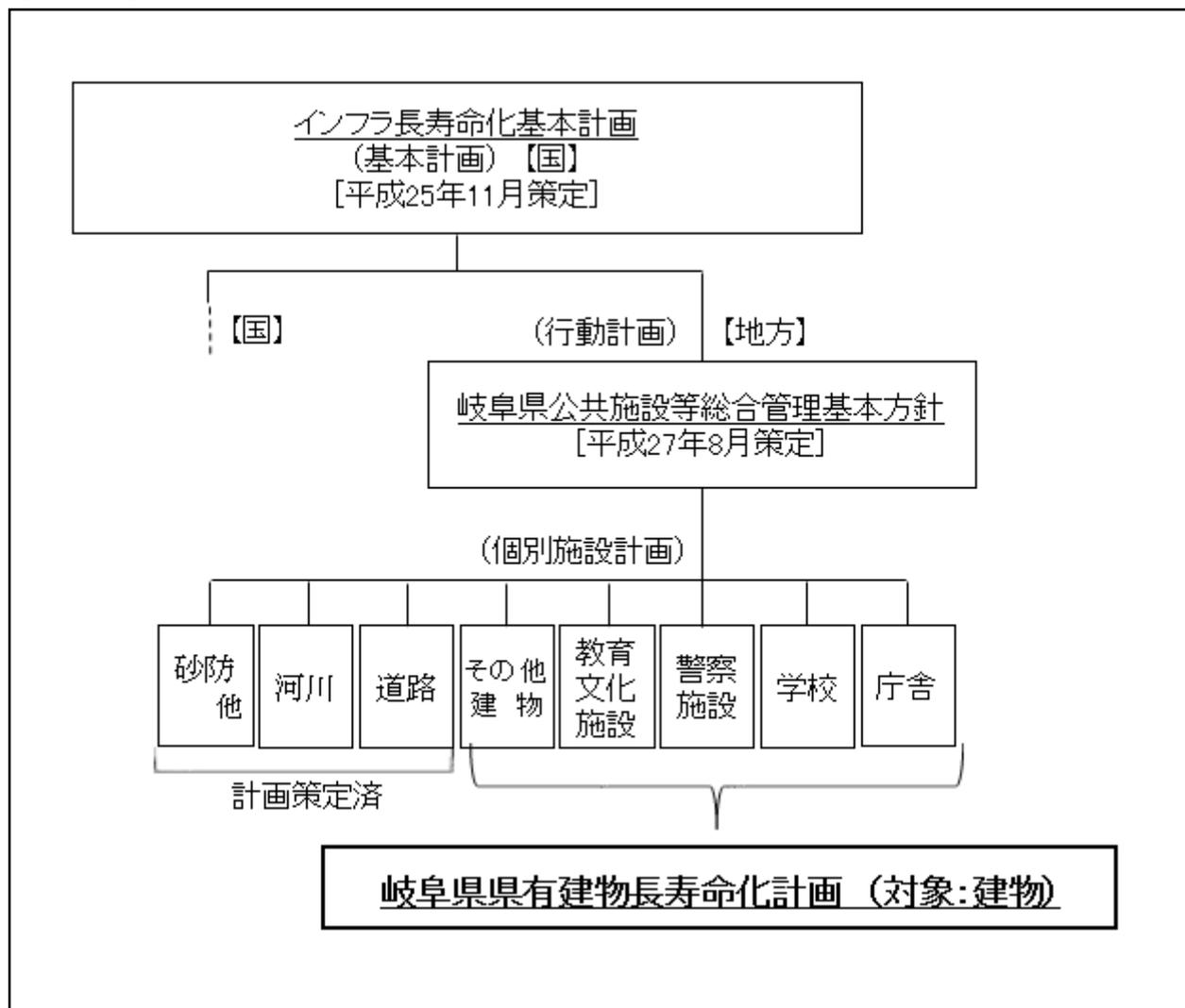
2 本計画の位置付け

県では、平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）」に基づき、本県のインフラの維持管理・更新等の中期的な取組みの方向性を明らかにした行動計画である「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」を平成27年8月に策定したところである。

本計画は、この基本方針に基づき、個別施設毎の具体的な対応方針を定め、施設の長寿命化や財政負担の最小化・平準化を図るとともに、施設の必要性や適正規模等を踏まえた適正配置を図ることを目的とする「個別施設計画」に位置付けるものである。

なお、道路や河川、砂防等のインフラ施設については、既にそれぞれ長寿命化計画を策定しており、本計画は、庁舎や学校等の建物を対象とする。（図表1-4）

【図表1-4】インフラ長寿命計画の体系



3 計画期間

20～30年程度にわたる長期的な視野に立ち、人口構造や公共施設に係る経費等の見通しについて把握・分析を行うことは、施設管理を効率的かつ効果的に進めていく上で必要な要素である。その一方で、社会情勢の変化等により、実施すべき取組みが大きく変わる可能性があることから、基本方針においては、より実効的な計画とするため、計画期間を平成27年度から平成36年度までの10年間を計画期間とすることとした。

本計画は、基本方針の推進にあたり、個別施設毎の具体の対応方針を定めるものであることから、計画期間は、基本方針と同様、終期を平成36年度とすることとする。

なお、対象期間にあっても、施設の状態は、経年劣化や疲労等によって時々刻々と変化することから、点検・診断等の結果などを踏まえながら、本計画は、適宜更新するものとする。

4 対象とする施設

現有する建物を長期にわたり有効に活用する観点からは、建物のすべてを本計画の対象として、長寿命化を図ることが考えられる。

他方、本計画の主な策定趣旨は、限られた財源の中で、今後本格化する公共施設等の老朽化に対応するため、建物の維持保全や再整備等を計画的かつ効率的に行うことで、財政負担の平準化・最小化を図ることにある。

このため、計画の対象建物は、各年度の財政負担への影響度等の観点から、一定の範囲内とすることが効果的であると考えられる。

以上を踏まえ、本計画において対象とする建物は、以下のとおりとすることとする。

(図表1-5)

《本計画の対象とする建物の範囲》

延面積が500㎡以上の建物を対象とする。ただし、以下の建物については、対象に含めない。

- ・解体予定又は用途廃止後、使用の予定がない建物
- ・特定財源の範囲で修繕を行っている建物
- ・別途、長寿命化計画を策定済みである県営住宅及び公園施設

※なお、延面積が500㎡未満の建物であっても、対象建物と一体的な修繕等を行うことが施設全体の長寿命化に資するものは、本計画の対象とする。

【図表 1-5】計画対象施設の棟数・延面積

| 区分 | 用途 | 棟数 | | 延面積(m ²) | |
|------|-----------------|-------|------|----------------------|--------------|
| | | 全体 | 計画対象 | 全体 | 計画対象 |
| 行政財産 | 庁舎・事務所 | 251 | 40 | 151,352.94 | 120,635.06 |
| | 試験研究機関 | 285 | 27 | 75,428.23 | 34,653.85 |
| | 警察施設 | 588 | 48 | 130,562.01 | 87,419.71 |
| | 高等学校・特別支援学校 | 2,342 | 452 | 1,034,250.46 | 879,184.70 |
| | 教育・文化・体育施設 | 363 | 105 | 411,671.35 | 368,460.26 |
| | 福祉施設 | 165 | 21 | 71,592.00 | 45,590.99 |
| | 公園 | 288 | | 36,965.76 | |
| | 県営住宅 | 351 | | 270,350.61 | |
| | その他の行政財産 | 65 | 1 | 26,335.56 | 575.55 |
| 普通財産 | 職員宿舎 | 821 | | 159,398.14 | |
| | その他の普通財産(貸付財産等) | 123 | 7 | 76,846.02 | 40,381.76 |
| 総計 | | 5,642 | 701 | 2,444,753.08 | 1,576,901.88 |

※「棟」とは、独立した建物を1つとしてカウントするため、1施設内に複数の棟を所有する場合がある
 (例：総合庁舎における「本館棟」と「機械棟」など)

第2章 施設の状況

1 各施設の利用の現況

(1) 高等学校・特別支援学校

高等学校については、少子化の進展等から入学定員が減少傾向にあり、入学定員を基とした一学年の学級数は、平成元年から平成29年度にかけて、全体で227学級減少（578学級→351学級）している。（図表2-1）

他方、この間、高校教育における少人数・習熟度授業の推進などにより、普通教室の一部は、多目的教室などに転用されており、生徒数の減少と教育の多様化への対応等を見据えた学校規模や配置について、検討が必要である。

なお、特別支援学校については、近年の特別支援教育に対する理解の高まりなどから入学希望者が増加傾向にあり、現時点において余剰の教室は見られない。（図表2-2）

【図表2-1】 県立高等学校（全日制）の学級数（一学年）の変遷

| | H元 | H10 | H20 | H29 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学級数 | 578 | 470 | 373 | 351 |

【図表2-2】 特別支援学校の学級数の変遷

| | H6 | H10 | H20 | H29 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学級数 | 318 | 351 | 478 | 676 |

(2) 警察施設

警察署や交番等の警察施設については、治安状況や社会情勢の変化などを踏まえつつ、その規模や配置が適宜見直されているところであり、余剰がある状況は認められない。

警察署については、建設当時から配置署員が増加し、狭隘化が顕著なところが多くあるほか、近年、防災機能の強化が求められているなど、規模や機能の面で施設ニーズが変化している。（図表2-3）

【図表 2-3】 県内 22 警察署における定員増加率の状況

| | | 岐阜中 | 岐阜南 | 岐阜北 | 各務原 | 岐阜羽島 | 海津 | 養老 | 垂井 |
|-----------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 定員 (人) | 建設時 | 266 | 167 | 181 | 51 | 76 | 35 | 37 | 39 |
| | 現在 | 264 | 169 | 195 | 161 | 180 | 51 | 43 | 43 |
| | 増加率 | 99% | 101% | 108% | 316% | 237% | 146% | 116% | 110% |

| | | 大垣 | 揖斐 | 北方 | 山県 | 郡上 | 関 | 加茂 | 可児 |
|-----------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 定員 (人) | 建設時 | 123 | 49 | 59 | 30 | 37 | 98 | 83 | 56 |
| | 現在 | 259 | 61 | 127 | 39 | 53 | 122 | 103 | 121 |
| | 増加率 | 211% | 124% | 215% | 130% | 143% | 124% | 124% | 216% |

| | | 多治見 | 恵那 | 中津川 | 下呂 | 高山 | 飛騨 |
|-----------|-----|------|------|------|------|------|------|
| 定員 (人) | 建設時 | 134 | 31 | 57 | 43 | 84 | 32 |
| | 現在 | 217 | 59 | 83 | 59 | 116 | 47 |
| | 増加率 | 162% | 190% | 146% | 137% | 138% | 147% |

(3) その他の施設

利用者数や稼働率など、施設毎の代表的な指標に基づき、各管理者（全 92 施設（※））による利用状況の評価を実施した。その結果、「十分利用・活用されている」が 78 施設（84.8%）、「ある程度利用・活用されている」が 12 施設（13.0%）となっている。（図表 2-4）

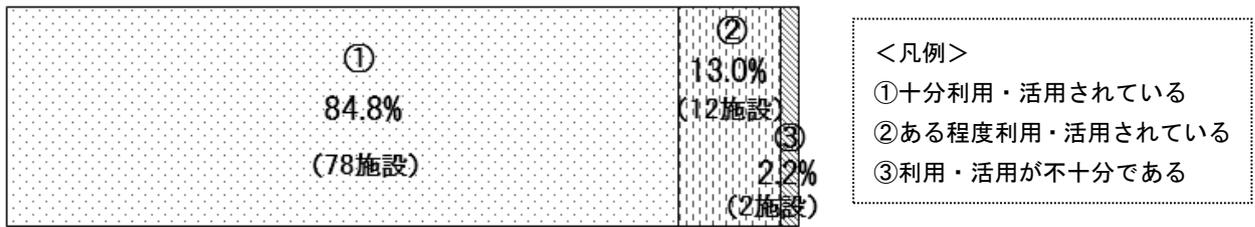
なお、「利用・活用が不十分である」とした 2 施設のうち、「岐阜県健康科学センター」では、共用部分であるハイビジョンシアターについて平成 25 年度以降、利用を中止していること、「飛騨・北アルプス自然文化センター」では、平成 29 年 4 月以降休館としていることが、それぞれ不十分とした理由である。

岐阜県健康科学センターについては、再開に向けた改修を進めているところであり、施設の統合・廃止等について、直ちに検討しなければならない状況にあるとは認められないと考える。

一方、飛騨・北アルプス自然文化センターについては、施設のあり方について検討を進めている。

※平成 29 年 5 月に供用開始した「御嶽濁河高地トレーニングセンター」については、本調査の対象外とした

【図表 2-4】施設利用状況調査結果（対象 92 施設）



2 各施設の劣化の状況

(1) 躯体の強度

長寿命化対策を行うにあたっては、その建物の躯体が今後も一定の耐久性を維持し得る強度を有するか留意する必要がある、建物の構造毎に下記の視点を目安に検討を行った上で、長寿命化の実施の適否を判断するものとする。

(ア) 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造

鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造については、コンクリート強度が重要である。この強度が 13.5 N/mm^2 を下回ると、耐震診断基準の適用範囲外（耐震補強に適さない）となるほか、多くの自治体においては、建て替えを検討する基準の一つとされている。

このため、長寿命化に際しては、対象建物が 13.5 N/mm^2 のコンクリート強度を有していることが目安となると考える。

他方、すべての建物についてコンクリート強度を測定するのは、多くの費用や時間を必要とすることから、本計画の策定時点においては、以下に掲げる技術的な指針から、いずれの施設も一定のコンクリート強度を有するものとして推定した。

なお、今後、建物の大規模改修や、多額の費用を必要とする工事を計画するにあたっては、費用対効果の観点から、真に長寿命化を図るに足る施設としての強度を有するか判断するため、コンクリートコアによる強度試験等の実施を検討する。

《コンクリート強度の推定値》

- ・コンクリートの設計強度が不明な場合の竣工年度から推定される強度

| 竣工年度 | 昭和 28 年以前 | 昭和 29～33 年 | 昭和 34～44 年 | 昭和 45 年以後 |
|-------------------------|------------|------------|------------|------------|
| 推定値 (N/mm^2) | $F_c=13.5$ | $F_c=15.0$ | $F_c=18.0$ | $F_c=21.0$ |

(出典) 日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造耐震診断基準・耐震改修設計指針」(平成 13 年)

(イ) その他の構造（鉄骨造（重量・軽量）、木造）

鉄骨造及び木造については、主に柱と梁による構造体であることから、それぞれ、鉄骨や木材の腐食状態を目視により確認するなどして検討する。

(2) 主要部位の劣化状態の調査

劣化が進行すると躯体に影響が及ぶおそれがあることから、建物の維持保全上、主要な部位である「屋根・屋上及び外壁」については、建物毎に劣化状態の調査を行った。

建築基準法第12条において、有資格者による定期の点検を行うこととされている建物については、当該点検結果を調査した。その他の建物については、本計画の策定時点においては、簡易的な方法により調査することとした。

具体的な調査方法としては、文部科学省が示す「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月公表）」を参考に、各部位の仕様に応じた評価基準を各施設管理者に提示のうえ、下記の点検項目に準じて、部位毎に良好から劣化までA～Dの4段階で評価することとした。（図表2-5）

以上の調査結果として、屋根・屋上については、D評価が41棟（5.8%）、C評価が113棟（16.1%）あり、外壁については、D評価が47棟（6.7%）、C評価が150棟（21.4%）となっている。（図表2-6）

<参考：各点検項目>

【屋根・屋上】

- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ✓ 防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴あきなどがないか。
- ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。

【外壁】

- ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
- ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができてないか。
- ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
- ✓ 建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
- ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。

【図表 2-5】 4段階評価レベル【屋根・屋上、外壁】

| 良好  劣化 | 評価 | 基準 |
|---|----|---|
| | A | 概ね良好 |
| | B | 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし) |
| | C | 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し) |
| | D | 早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等 |

【図表 2-6】 4段階評価の施設割合【屋根・屋上、外壁】

| | | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 屋根 屋上 (701棟) | A | B | C | D |
| | 45.7% (320棟) | 32.4% (227棟) | 16.1% (113棟) | 5.8% (41棟) |
| 外壁 (701棟) | A | B | C | D |
| | 33.5% (235棟) | 38.4% (269棟) | 21.4% (150棟) | 6.7% (47棟) |

第3章 取組みの方向性と内容

1 取組みの方向性

建物は常に安全かつ安心して利用できることが第一であり、適切な管理により、突発的な不具合による利用停止や事故等の防止を図る必要がある。

このため、予防保全（不具合が生じる前に修繕・交換し、建物の機能・性能を維持）の考え方を取り入れ、定期的実施する点検等の結果を踏まえつつ、修繕箇所等の優先順位を考慮しながら、計画的に維持保全等を実施していく。

これにより、概ね40～50年程度で改築等を行っていた建物の使用を、原則、65年程度にまで延伸することを目指す（※）とともに、維持管理の見直し等も含め、ライフサイクルコストの縮減など、財政負担の最小化・平準化に向けた取組みを推進する。

※ただし、昭和56年5月31日以前に着工した建物で求められる機能の変化等から必要と認められる場合は、この限りでない。

2 取組みの内容

（1）長寿命化に向けた維持管理

（ア）点検・診断等

建物の不具合や劣化、損傷等の発見のほか、付随する設備等を含め、機能上適切な状態にあるか確認するため、建築基準法第12条に基づく定期点検が求められる施設については、引き続き、適切に点検を実施する。

法定点検の対象とならない施設についても、12条点検に準じた手法による点検を定期的実施することを基本として取り組む。

また、建物を支障なく利用できるよう、日常的な点検に努めるとともに、点検や修繕の履歴を経年的に記録する保全台帳を新たに整備し、その記録を次の対策に活用するなど、維持管理のメンテナンスサイクルを構築する。

（イ）維持保全

建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。

また、点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、耐震性・耐久性が高い資機材を選定するなど、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

①部位毎による更新サイクル

予防保全にあたっては、建物に最低限必要な機能や性能を維持するため、計画的に保全すべき部位を特定し、劣化状況の確認のほか、各部位の耐用年数や過去の改修実績から改修サイクルを設定し、標準的な工事年度や工事費の概算金額を算出する。(図表3-1)

②対策費用の最小化

例えば、高校の校舎など、隣接する建物等で共通の仮設機材を必要とする工事はまとめて計画するなど、対策費用を最小化するよう考慮し、中期的な対策スケジュールを作成する。

【図表3-1 計画対象部位一覧(例)】

| 区分 | 対象部位 | | 改修・更新サイクル |
|----------|------------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| 建築 | 屋上・屋根 | シート防水等 | 露出防水：20年 保護コンクリートのあるアスファルト防水：30年 |
| | 外壁 | 外壁仕上げ、シーリング等 | 吹付けやタイル仕上げ：15～20年 |
| 電気設備 | 電力設備 | 照明器具 | 20年 |
| | | 分電盤（低圧） | 25年 |
| | 受変電設備 | 高圧受変電設備 | 屋内：30年、屋外：25年 |
| | | 特高受変電設備 | 25年 |
| | 静止形電源設備 | 直流電源装置 | 20年 |
| | 発電設備 | 発電装置 | ディーゼル発電装置：30年 |
| | 通信・情報設備 | 電話交換設備 | 20年 |
| | | テレビ共同受信装置 | 20年 |
| | | 自動火災報知装置 | 20年 |
| | | 非常警報装置 (非常放送、非常ベル) | 20年 |
| 中央監視制御設備 | 監視制御装置 (空調、電力、ポンプ等) | 15年 | |
| 機械設備 | 空気調和設備 | 熱源設備 | 15～30年 |
| | | 空気調和機 | 20年 |
| | | 冷却塔 | 15年 |
| | | ポンプ類 | 20年 |
| | | 冷温水配管 | 30年 |
| | 給排水衛生設備 | タンク類 | 30年 |
| | | ポンプ類 | 20年 |
| | | 配管類 | 30年 |
| | 昇降機設備 | エレベーター | 30年 |

※その他計画的保全が必要な部位は適時追加するものとする。

(ウ) 優先順位の考え方

点検・診断等により、施設等の状態を正確に把握し、必要な対策を適切な時期に実施していくことで、施設の適正な利用を図る。

維持保全にあたっては、前述した劣化状況調査の結果等を踏まえつつ、財政負担の平準化に意を用いながら、公共施設の中でも相対的に県民の利用が多い公共用施設について優先的な対策の実施を検討する。

(2) 再整備

本計画策定時点において、再整備に着手している施設については、当該整備スケジュールに基づいて整備を推進する。

再整備の計画があるものの、着手していない下記施設については、本計画上は、各所管部局が予定する整備計画で一旦整理するが、今後の予算編成過程において、整備計画を検討することとする。

なお、本計画は、当該検討結果を踏まえ、適宜更新するものとする。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ・ 運転免許試験場 | 平成30年度～平成32年度 |
| ・ 畜産研究所 | 平成31年度～平成35年度 |
| ・ 昭和30年代建築の高等学校 | 平成31年度以降、各年度2校程度 |
| ・ 多治見警察署 | 平成32年度～平成34年度 |
| ・ 大垣警察署 | 平成36年度～平成38年度 |

(3) 施設保有の最適化（集約化、廃止等）

人口減少社会にあつては、現在と同種・同規模の建物を維持する必要性は必ずしもなくなっていくものと考えられる。

このため、老朽化等に伴う再整備等に際しては、利用状況やニーズ等、建物毎に異なる状況を様々な観点から検討するとともに、県行政の遂行や県民の安全・安心、利便性に支障を来たさないよう配慮した上で建物の最適化を図っていく。

具体的には、以下の考え方を基本として検討する。

- 施設ニーズの拡大に対しては、既存施設の活用を基本として検討する（ただし、立地や機能、必要な規模（空きスペース）、老朽度等の観点から適否を判断する。）。
- ・活用が適する場合には、集約化や複合化、他用途からの転用、増築を検討することとする。
- ・活用が適さない場合には、再整備や新設を検討することとする。

- ・なお、いずれの場合にも、必要な機能や利用者の将来推計などを精査し、コストが最小となるよう整備規模や工法等を検討することとする。
- 施設ニーズが著しく低下している場合は、他用途への転用や売却、貸付、除却を検討することとする。

(4) 対策のフォローアップと推進体制

本計画については、各年度の予算措置状況や対策の進捗状況などを確認しながら毎年度フォローアップを行うとともに、実態に即した計画となるよう、施設の劣化状況や利用状況等を踏まえた対策の更新を適宜行うものとする。

計画のフォローアップと対策の更新については、「岐阜県公共施設等総合管理推進本部」において報告又は協議することとし、引き続き、全庁体制の下、公共施設の総合管理を推進するものとする。

第4章 対策の内容と実施時期、概算費用

第3章に掲げた取組み内容を踏まえた施設毎の対策の内容と実施時期、及びこれに係る概算費用は、『岐阜県公共施設等総合管理基本方針』に基づく個別施設計画（案）のとおりである。

なお、個別施設計画（案）は、平成30年度当初予算編成を踏まえて内容を変更する可能性がある。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------|---------------|
| H29 | ガスタービン発電設備修繕工事 | 79 |
| H29 | 空気調和設備熱源設備修繕工事 | 47 |
| H29 | 給排水衛生設備(タンク類)修繕工事 | 99 |
| H29 | 個別空調機修繕工事 | 35 |
| H30 | 空気調和設備修繕工事 | 82 |
| H30 | 中央監視設備 リモートシステム修繕工事 | 22 |
| H31 | 再整備 | 1,660 |
| H32 | 再整備 | 16,600 |
| H33 | 再整備 | 16,700 |
| 計 | | 52,024 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(岐阜県庁舎)

| | |
|------|--------|
| 施設類型 | 庁舎・事務所 |
|------|--------|

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------------|
| 施設名称 | 岐阜県庁舎 |
| 所在地 | 岐阜市藤田南2丁目1番1 |
| 施設延面積 | 52,567.95㎡ |
| 建設年月 | 昭和41年5月 |
| 構造 | 階数 鉄骨鉄筋コンクリート造 12階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 平成21年度 |
|------|---------|------------|--------------|---------|----|-----------------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和41年5月 | 43,529.62 | - | B | C | - |
| 議会棟 | 昭和41年5月 | 5,609.32 | 耐震補強済 | A | B | - |
| 議会西棟 | 昭和53年8月 | 3,429.01 | 耐震補強済 | A | B | - |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

県庁舎再整備により平成34年度移転予定

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(西濃総合庁舎)

施設類型 庁舎・事務所

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 西濃総合庁舎 |
| 所在地 | 大垣市江崎町4-2-3 |
| 施設延面積 | 7,985.56㎡ |
| 建設年月 | 昭和46年2月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和46年2月 | 6,953.23 | 耐震補強済 | A | B | 平成31年度 |
| 家畜棟 | 昭和46年2月 | 428.88 | - | B | B | - |
| 試験機械棟 | 昭和46年2月 | 493.45 | - | C | C | - |
| 機械棟 | 平成8年3月 | 110.00 | - | B | B | - |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対処する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

・設置から30年弱経過している設備が多く、修理部品が調達できないものが多い。
・変圧電設備及び空調熱源設備を共用している大垣警察署の建替え計画あり。
・災害対策機能の維持・強化のため非常電源の更新を予定。なお、浸水想定区域内にあるため、設置に当たっては浸水対策が必要。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------------|---------------|
| H29 | 非常用発電装置等改修【設計】 | 6 |
| H30 | 非常用発電装置等改修【工事】 | 76 |
| H30 | トイレ改修【設計】 | 6 |
| H31 | トイレ改修【工事】 | 87 |
| H31 | 非常用発電装置等改修【工事】 | 175 |
| H31 | 分電盤改修【設計】 | 1 |
| H31 | 外灯取替【設計】 | 1 |
| H31 | 直流電源装置改修【設計】 | 1 |
| H32 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【設計】 | 8 |
| H32 | 分電盤改修【工事】 | 9 |
| H32 | 外灯取替【工事】 | 10 |
| H32 | 空気調和機(エアハンドリングユニット)改修【設計】 | 10 |
| H32 | 直流電源装置改修【工事】 | 10 |
| H32 | 中央監視制御装置改修【設計】 | 4 |
| H32 | 冷却塔改修【設計】 | 1 |
| H33 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【工事】 | 134 |
| H33 | 空気調和機(エアハンドリングユニット)改修【工事】 | 129 |
| H33 | 中央監視制御装置改修【工事】 | 54 |
| H33 | 冷却塔改修【工事】 | 12 |
| H33 | 受水槽改修【設計】 | 2 |
| H33 | 給排水配管類改修【設計】 | 1 |
| H34 | 受水槽改修【工事】 | 17 |
| H34 | 給排水配管類改修【工事】 | 10 |
| H35 | 照明器具改修【設計】 | 2 |
| H36 | 照明器具改修【工事】 | 16 |
| | 計 | 782 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--------------------|---------------|
| H30 | 電話交換装置改修【設計】 | 3 |
| H31 | 電話交換装置改修【工事】 | 39 |
| H31 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【設計】 | 3 |
| H31 | エレベーター改修【設計】 | 3 |
| H31 | 直流電源装置改修【設計】 | 2 |
| H32 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【工事】 | 53 |
| H32 | エレベーター改修【工事】 | 53 |
| H32 | 直流電源装置改修【工事】 | 15 |
| H32 | 受水槽改修【設計】 | 2 |
| H32 | 給排水配管類改修【設計】 | 1 |
| H33 | 非常用発電装置等改修【設計】 | 6 |
| H33 | 冷却塔改修【工事】 | 3 |
| H33 | 受水槽改修【工事】 | 17 |
| H33 | 給排水配管類改修【工事】 | 11 |
| H34 | 非常用発電装置等改修【工事】 | 55 |
| H35 | 非常用発電装置等改修【工事】 | 127 |
| H34 | 照明器具改修【設計】 | 2 |
| H34 | 受水槽改修【設計】 | 2 |
| H35 | 照明器具改修【工事】 | 17 |
| H35 | 受水槽改修【工事】 | 17 |
| H35 | 分電盤改修【設計】 | 2 |
| H35 | 自動制御装置改修【設計】 | 5 |
| H36 | 分電盤改修【工事】 | 20 |
| H36 | 自動制御装置改修【工事】 | 84 |
| | 計 | 542 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(揖斐総合庁舎)

| | |
|------|--------|
| 施設類型 | 庁舎・事務所 |
|------|--------|

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------------|
| 施設名称 | 揖斐総合庁舎 |
| 所在地 | 岐阜県揖斐郡川上町上南方1-1 |
| 施設延面積 | 4,889.33㎡ |
| 建設年月 | 昭和57年11月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和57年11月 | 4,232.73 | 新耐震基準 | B | B | 平成29年度 |
| 機械棟 | 昭和57年11月 | 656.60 | 新耐震基準 | B | B | - |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

・設置から30年弱経過している設備が多く、修理部品が調達できないものが多い。
・災害対策機能の維持・強化のため非常電源の更新を予定。なお、浸水想定区域内にあるため、設置に当たっては浸水対策が必要。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（中濃総合庁舎）

| | |
|------|--------|
| 施設類型 | 庁舎・事務所 |
|------|--------|

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 中濃総合庁舎 |
| 所在地 | 岐阜県美濃市生綱1612-2 |
| 施設延面積 | 6,305.33㎡ |
| 建設年月 | 昭和48年10月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|--------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和48年11月 | 5,166.04 | 耐震補強済 | C | C | 平成21年度 |
| 機械試験室等 | 昭和48年11月 | 542.55 | 耐震補強済 | C | C | 平成21年度 |
| 車庫・倉庫 | 昭和48年11月 | 596.74 | - | C | C | 平成21年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

・設置から30年弱経過している設備が多く、修理部品が調達できないものが多い。
・災害対策機能の維持・強化のため非常電源の更新を予定。なお、浸水想定区域内にあるため、設置に当たっては浸水対策が必要。

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------------|---------------|
| H29 | 自動火災報知装置・非常警報装置改修【工事】 | 9 |
| H29 | 外壁改修・塗装【工事】 | 5 |
| H29 | 屋上屋根改修【工事】 | 10 |
| H30 | エレベーター改修工事【設計】 | 2 |
| H30 | エレベーター改修工事【工事】 | 56 |
| H30 | 井戸新設工事【設計・工事】 | 31 |
| H30 | 冷温水発生機改修【工事】 | 17 |
| H30 | 非常用発電装置等改修【設計】 | 9 |
| H31 | 非常用発電装置等改修【工事】 | 92 |
| H32 | 分電盤改修【設計】 | 1 |
| H32 | 電話交換装置改修【設計】 | 4 |
| H32 | 空調調和機（エアハンドリングユニット）改修【設計】 | 6 |
| H32 | 冷却塔改修【設計】 | 1 |
| H32 | 車庫屋根改修【設計】 | 3 |
| H33 | 分電盤改修【工事】 | 10 |
| H32 | 非常用発電装置等改修【工事】 | 213 |
| H33 | 電話交換装置改修【工事】 | 56 |
| H33 | 空調調和機（エアハンドリングユニット）改修【工事】 | 103 |
| H33 | 冷却塔改修【工事】 | 10 |
| H33 | 車庫屋根改修【工事】 | 38 |
| H33 | 照明器具改修【設計】 | 1 |
| H33 | 大会議室用空調調和機改修【設計】 | 2 |
| H33 | 直流電源装置改修【設計】 | 1 |
| H34 | 照明器具改修【工事】 | 13 |
| H34 | 大会議室用空調調和機改修【工事】 | 23 |
| H34 | 直流電源装置改修【工事】 | 4 |
| H34 | 機械棟屋上防水【設計】 | 1 |
| H34 | 給排水配管類改修【設計】 | 1 |
| H35 | 機械棟屋上防水【工事】 | 10 |
| H35 | 給排水配管類改修【工事】 | 3 |
| H35 | 冷温水発生機改修【設計】 | 1 |
| H36 | 冷温水発生機改修【工事】 | 8 |
| | 計 | 744 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------------|---------------|
| H30 | 冷温水発生機改修【工事】 | 29 |
| H30 | エレベーター改修【設計】 | 4 |
| H31 | エレベーター改修【工事】 | 52 |
| H31 | 集中監視システム改修【設計】 | 2 |
| H31 | 空気調和機(エアハンドリングユニット)改修【設計】 | 1 |
| H31 | 直流電源装置改修【設計】 | 1 |
| H32 | 集中監視システム改修【工事】 | 19 |
| H32 | 空気調和機(エアハンドリングユニット)改修【工事】 | 10 |
| H32 | 直流電源装置改修【工事】 | 7 |
| H32 | 外壁塗装【設計】 | 3 |
| H32 | 給排水設備配管類改修【設計】 | 1 |
| H33 | 外壁塗装【工事】 | 53 |
| H33 | 給排水設備配管類改修【工事】 | 3 |
| H33 | 浄化槽棟排風機・破砕機改修【工事】 | 3 |
| H33 | 空気調和機(エアハンドリングユニット)改修【設計】 | 1 |
| H33 | 冷却塔改修【設計】 | 1 |
| H33 | 冷温水配管改修【設計】 | 2 |
| H34 | 空気調和機(エアハンドリングユニット)改修【工事】 | 11 |
| H34 | 冷却塔改修【工事】 | 11 |
| H34 | 冷温水配管改修【工事】 | 21 |
| H34 | 分電盤改修【設計】 | 1 |
| H34 | 受水槽改修【設計】 | 2 |
| H35 | 分電盤改修【工事】 | 12 |
| H35 | 受水槽改修【工事】 | 21 |
| H35 | 照明器具改修【設計】 | 2 |
| H35 | 空気調和機ポンプ類改修【設計】 | 2 |
| H35 | 車庫シート防水【設計】 | 3 |
| H36 | 照明器具改修【工事】 | 21 |
| H36 | 空気調和機ポンプ類改修【工事】 | 20 |
| H36 | 車庫シート防水【工事】 | 38 |
| H36 | 非常用発電装置改修【設計】 | 5 |
| | 計 | 362 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(郡上総合庁舎)

施設類型 庁舎・事務所

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 郡上総合庁舎 |
| 所在地 | 岐阜市八幡町初音1727-2 |
| 施設延面積 | 4,567.64㎡ |
| 建設年月 | 昭和53年11月 |
| 構造/階数 | 鉄筋コンクリート造 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和53年11月 | 4,567.64 | 耐震補強済 | A | C | 平成31年度 |
| 試験機械棟 | 昭和53年11月 | 762.00 | 耐震補強済 | A | C | - |
| 中型車庫 | 昭和53年11月 | 698.92 | - | C | C | 平成31年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

・設置から30年弱経過している設備が多く、修理部品が調達できないものが多い。

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(東濃西部総合庁舎)

施設類型 庁舎・事務所

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 東濃西部総合庁舎 |
| 所在地 | 岐阜県多治見市上野町5-68-1 |
| 施設延面積 | 5,980.75㎡ |
| 建設年月 | 昭和55年9月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| | 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和55年9月 | 4,858.96 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度 |
| 試験機械棟 | 昭和55年9月 | 756.64 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度 |
| 児相棟 | 昭和55年9月 | 365.15 | 耐震補強済 | E | B | 平成30年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

・設置から30年弱経過している設備が多く、修理部品が調達できないものが多い。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------------------|---------------|
| H29 | ビル監視システム改修【工事】 | 20 |
| H30 | 直流電源装置改修【工事】 | 8 |
| H31 | 冷温水発生機改修【設計】 | 2 |
| H31 | 空気調和機(エアハンドリングユニット)改修【設計】 | 3 |
| H31 | 冷却塔改修【設計】 | 2 |
| H31 | 中央監視制御装置改修【設計】 | 2 |
| H31 | 空気調和設備ポンプ類改修【設計】 | 1 |
| H31 | 暖房用ボイラー改修【設計】 | 1 |
| H32 | 冷温水発生機改修【工事】 | 20 |
| H32 | 冷却塔改修【工事】 | 40 |
| H32 | 中央監視制御装置改修【工事】 | 26 |
| H32 | 空気調和設備ポンプ類改修【工事】 | 17 |
| H32 | 暖房用ボイラー改修【工事】 | 8 |
| H32 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【設計】 | 3 |
| H32 | 子相棟空調設備改修【設計】 | 9 |
| H32 | 高圧受変電設備改修【設計】 | 1 |
| H32 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【工事】 | 3 |
| H33 | 子相棟空調設備改修【工事】 | 180 |
| H33 | 高圧受変電設備改修【工事】 | 40 |
| H33 | 分電盤改修【設計】 | 4 |
| H33 | テレビ共同受信装置改修【設計】 | 2 |
| H34 | 分電盤改修【工事】 | 1 |
| H34 | テレビ共同受信装置改修【工事】 | 22 |
| H34 | 照明器具改修【設計】 | 2 |
| H34 | 機械給排水設備(受水槽・ポンプ類・配管類)改修【設計】 | 3 |
| H35 | 照明器具改修【工事】 | 2 |
| H35 | 機械給排水設備(受水槽・ポンプ類・配管類)改修【工事】 | 30 |
| H35 | 給排水設備(受水槽配管類)改修【設計】 | 25 |
| H36 | 給排水設備(受水槽配管類)改修【工事】 | 4 |
| | 計 | 57 |
| | | 538 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------------------|---------------|
| H29 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【設計】 | 7 |
| H30 | 外壁塗装、シーリング打ち替え【工事】 | 286 |
| H31 | 高圧引込電気設備改修【設計】 | 1 |
| H31 | 電話交換装置改修【設計】 | 1 |
| H31 | 中央監視制御装置改修【設計】 | 3 |
| H31 | 冷水発生機改修【設計】 | 2 |
| H31 | 分館冷却塔改修【設計】 | 1 |
| H32 | 高圧引込電気設備改修【工事】 | 7 |
| H32 | 電話交換装置改修【工事】 | 11 |
| H32 | 中央監視制御装置改修【工事】 | 45 |
| H32 | 冷水発生機改修【工事】 | 23 |
| H32 | 分館冷却塔改修【工事】 | 2 |
| H32 | 高圧受変電設備改修【設計】 | 1 |
| H32 | 冷水水配管・冷却塔・ポンプ類改修【設計】 | 5 |
| H33 | 高圧受変電設備改修【工事】 | 12 |
| H33 | 冷水水配管・冷却塔・ポンプ類改修【工事】 | 67 |
| H33 | 分館空調設備タンク類(膨張タンク)改修【設計】 | 1 |
| H33 | 給排水設備ポンプ類改修【設計】 | 1 |
| H33 | 非常用発電機等改修【設計】 | 8 |
| H33 | 機械棟冷水発生機・冷却塔・ポンプ改修【設計】 | 1 |
| H34 | 分館空調設備タンク類(膨張タンク)改修【工事】 | 2 |
| H34 | 給排水設備ポンプ類改修【工事】 | 2 |
| H34 | 非常用発電機等改修【工事】 | 77 |
| H34 | 機械棟冷水発生機・冷却塔・ポンプ改修【工事】 | 7 |
| H34 | テレビ共同受信装置改修【設計】 | 1 |
| H34 | 分館照明器具改修【設計】 | 3 |
| H35 | 分館照明器具改修【工事】 | 8 |
| H35 | 非常用発電機等改修【工事】 | 28 |
| H35 | 非常用発電機等改修【工事】 | 178 |
| H35 | 照明器具改修【設計】 | 3 |
| H36 | 照明器具改修【工事】 | 43 |
| H36 | 空調用自動制御機器改修【設計】 | 4 |
| 計 | | 841 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)
(飛騨総合庁舎)

施設類型 庁舎・事務所

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 飛騨総合庁舎 |
| 所在地 | 高山市上岡本町7-468 |
| 施設延面積 | 7,780.33㎡ |
| 建設年月 | 昭和44年12月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の実施時期 |
|-----|----------|------------|----------|---------|----|---------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和44年12月 | 4,612.09 | 耐震補強済 | C | D | - |
| 分館 | 昭和49年6月 | 2,615.94 | 耐震補強済 | C | D | - |
| 厚生棟 | 昭和56年3月 | 552.30 | 耐震補強済 | C | C | - |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある)

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

・設置から30年弱経過している設備が多く、修理部品が調達できないものが多い。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------------|---------------|
| H29 | 空気調和設備改修【工事】 | 21 |
| H31 | 電話交換装置改修【設計】 | 3 |
| H31 | 自動火災報知装置・非常警報装置改修【設計】 | 1 |
| H31 | 冷温水配管改修【設計】 | 2 |
| H32 | 電話交換装置改修【工事】 | 35 |
| H32 | 自動火災報知装置・非常警報装置改修【工事】 | 13 |
| H32 | 冷温水配管改修【工事】 | 33 |
| H32 | 照明器具改修【設計】 | 3 |
| H32 | 照明器具(外灯)改修【設計】 | 1 |
| H32 | 直流電源装置改修【設計】 | 1 |
| H33 | 照明器具改修【工事】 | 28 |
| H33 | 照明器具(外灯)改修【工事】 | 8 |
| H33 | 直流電源装置改修【工事】 | 4 |
| H33 | 分電盤改修【設計】 | 3 |
| H34 | 分電盤改修【工事】 | 44 |
| H34 | 給排水設備(受水槽・ポンプ類・配管類)改修【設計】 | 4 |
| H35 | 給排水設備(受水槽・ポンプ類・配管類)改修【工事】 | 51 |
| H35 | 高圧受変電設備改修【設計】 | 1 |
| H35 | 非常用発電装置改修【設計】 | 10 |
| H36 | 高圧受変電設備改修【工事】 | 2 |
| H36 | 非常用発電装置改修【工事】 | 67 |
| 計 | | 335 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(下呂総合庁舎)

施設類型 庁舎・事務所

1 施設の概要

| | |
|-------|---------------------|
| 施設名称 | 下呂総合庁舎 |
| 所在地 | 岐阜県下呂市萩原町羽根2-6-05-1 |
| 施設延面積 | 5,786.68㎡ |
| 建設年月 | 昭和49年11月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館棟 | 昭和49年11月 | 4,233.27 | 耐震補強済 | B | B | 平成29年度 |
| 本庁棟 | 昭和49年11月 | 763.00 | 診断の結果耐震性有 | C | B | - |
| 試験機械棟 | 昭和49年11月 | 790.41 | 耐震補強済 | B | C | - |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

・設置から30年弱経過している設備が多く、修理部品が調達できないものが多い。

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
（自動車税事務所）

| | |
|------|--------|
| 施設類型 | 庁舎・事務所 |
|------|--------|

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------------------|
| 施設名称 | 自動車税事務所 |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市日鷹江字五十五番26648-3 |
| 施設延面積 | 1,555.42㎡ |
| 建設年月 | 昭和56年3月 |
| 構造 | 鉄骨コンクリート造 |
| 階数 | 2階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和56年3月 | 1,555.42 | 診断の結果耐震性有 | B | B | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対処する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------------------|---------------|
| H31 | 熱源設備（冷温水発生器等）更新 | 67 |
| H31 | 冷却塔更新 | 7 |
| H34 | 屋上防水改修 | 16 |
| H34 | 外壁改修 | 23 |
| H34 | 変電設備高圧引込み更新 | 24 |
| H34 | 空気調和機更新 | 58 |
| H34 | 給排水衛生設備（シンク（受水槽・高置水槽等）類）更新 | 7 |
| H36 | 照明器具更新 | 20 |
| H36 | 高圧変電設備更新 | 34 |
| H36 | テレビ共同受信装置更新 | 2 |
| H36 | 自動火災報知設備更新 | 4 |
| H36 | 非常警報装置（非常放送、非常ベル）更新 | 5 |
| H36 | 監視制御装置更新 | 3 |
| H36 | 雷保護設備更新 | 2 |
| H36 | 給排水衛生設備（配管）更新 | 23 |
| 計 | | 295 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（西濃子ども相談センター）

施設類型 庁舎・事務所

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | 西濃子ども相談センター |
| 所在地 | 大垣市森森町5丁目1468番地10 |
| 施設延面積 | 640.44㎡ |
| 建設年月 | 昭和47年3月 |
| 構造 | 鉄骨コンクリートフロック4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 <small>耐震補強済</small> | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----|---------|------------|--------------------------------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和47年3月 | 640.44 | | B | B | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--|---------------|
| 30 | 建物調査業務委託（長寿命化計画策定用） | 0.2 |
| 31～ | 長寿命化に向けた工事の実施 (工事内容は未定・概算費用も今後再検討する。) | 12 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 計 | 12.2 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
 (岐阜県健康科学センター)

施設類型 試験研究機関

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 岐阜県健康科学センター |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市那加不動正1-1 |
| 施設延面積 | 9,839.59㎡ |
| 建設年月 | 平成11年6月 |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| | 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 健康科学センター | 平成11年6月 | 9,839.59 | 新耐震基準 | C | B | 平成30年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
 C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の見し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
 ・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------|---------------|
| H29 | 自動火災報知設備修繕 | 75 |
| H30 | 吸収冷温水発生機 (R-1) 点検整備 | 7 |
| H31 | 屋上防水修繕 | 7 |
| H31 | ガスタービンA発電設備点検整備 | 9 |
| H31 | 吸収冷温水発生機 (R-2) 点検整備 | 7 |
| H32 | ガスタービンB発電設備点検整備 | 10 |
| H32 | 冷却塔点検整備 | 10 |
| H32 | 研究所棟の排気フィルター交換 | 5 |
| H33 | 実験排水処理装置点検整備 | 7 |
| H34 | 研究室用スクラッパ-1 目点検整備 | 6 |
| H35 | 研究室用スクラッパ-2 目点検整備 | 6 |
| H36 | 研究室用スクラッパ-3 目点検整備 | 6 |
| | 計 | 155 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--------------|---------------|
| H31 | 牛舎屋根改修(設計) | 2 |
| H31 | 畜舎屋根改修(設計) | 1 |
| H32 | 牛舎外壁改修(工事) | 1 |
| H32 | 牛舎屋根改修(工事) | 15 |
| H32 | 畜舎外壁改修(工事) | 9 |
| H33 | 牛舎搾乳設備改修(設計) | 4 |
| H34 | 牛舎搾乳設備改修(工事) | 11 |
| 計 | | 45 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(畜産研究所(酪農研究部))

施設類型 試験研究機関

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------------|
| 施設名称 | 畜産研究所(酪農研究部) |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市山岡町久保原字東山上ヶ平1-19 |
| 施設延面積 | 1,443.22㎡ |
| 建設年月 | 平成7年3月 |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 1階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 牛舎 | 平成7年3月 | 819.72 | 新耐震基準 | D | B | - |
| 畜舎 | 昭和57年3月 | 623.50 | 新耐震基準 | C | C | - |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
 (岐阜県福祉・農業会館)

| | |
|------|------|
| 施設類型 | 福祉施設 |
|------|------|

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------------------|
| 施設名称 | 岐阜県福祉・農業会館 |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1 |
| 施設延面積 | 10,131.59㎡ |
| 建設年月 | 昭和55年2月 |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 1階建て (一部2階建) |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|---------|------------|--------------|---------|----|--------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館棟 | 昭和55年2月 | 7,891.31 | 診断の結果耐震性有 | B | C | 平成20年03月実施予定 |
| 児相棟 | 昭和55年2月 | 2,240.22 | 診断の結果耐震性有 | B | C | 平成20年03月実施予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
 C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対処する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
 ・点検・診断結果等を基に、計画的で効果的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------------|---------------|
| H29 | 屋上外壁改修・エレベーター改修設計 | 10 |
| H29 | 中央子ども相談センター再整備 | 410 |
| H30 | 中央子ども相談センター再整備 | 1,310 |
| H30 | 屋上外壁改修・エレベーター改修工事 | 149 |
| H31 | 屋上外壁改修・エレベーター改修工事 | 149 |
| H31 | 電話交換設備更新 | 21 |
| H31 | 自動火災報知装置 | 11 |
| H31 | 空調設備更新（現行設備と同じもので更新をした場合） | 67 |
| H32 | 冷却塔更新（現行設備と同じもので更新をした場合） | 11 |
| H35 | 自家発電設備更新 | 見積取得中 |
| 計 | | 2,138 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------|---------------|
| H29 | 熱源設備改修設計 | 4 |
| H29 | 高圧受変電設備改修設計 | 1 |
| H30 | 熱源設備改修 | 76 |
| H30 | 高圧受変電設備改修 | 19 |
| H31 | 給排水衛生設備改修 | 28 |
| H36 | 中央監視制御設備改修 | 27 |
| H36 | 熱源設備改修 | 40 |
| 計 | | 195 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
（岐阜県立サニーヒルズみずなみ）

施設類型 福祉施設

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 岐阜県立サニーヒルズみずなみ |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市陶町猿川657番34 |
| 施設延面積 | 558.47㎡ |
| 建設年月 | H3年3月 |
| 構造 | 鉄骨コンクリート造 |
| 階数 | 1階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|-------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 管理棟 | H3年3月 | 558.47 | 新耐震基準 | A | B | 平成31年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対処する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する。予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効果的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（岐阜県立ひまわりの丘学園）

| | |
|------|------|
| 施設類型 | 福祉施設 |
|------|------|

1 施設の概要

| | | | |
|-------|--------------|------|--|
| 施設名称 | 岐阜県立ひまわりの丘学園 | | |
| 所在地 | 岐阜市桐ヶ丘3丁目2番地 | | |
| 施設延面積 | 1,871.74㎡ | | |
| 建設年月 | S52年3月 | | |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 | 1階建て | |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|--------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 管理収容棟 | S52年3月 | 821.39 | 診断の結果耐震性有 | C | D | 平成31年度 |
| 体育館 | S46年2月 | 518.40 | 診断の結果耐震性有 | A | B | 平成31年度 |
| 厨房棟 | H6年3月 | 531.95 | 事前調査中 | A | B | 平成31年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の見込みあり）、
D…早急に劣化対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--------------|---------------|
| H29 | 給排水設備改修設計 | 12 |
| H30 | 屋上防水、外壁改修 | 4 |
| H31 | 屋上防水、外壁改修 | 63 |
| H30 | 熱源設備改修 | 2 |
| H30 | 給排水設備改修 | 171 |
| H32 | 分電盤改修 | 21 |
| H32 | 空調設備改修 | 30 |
| H33 | 給排水設備改修 | 130 |
| H33 | 屋上防水改修 | 11 |
| H33 | 空調・給排水衛生設備改修 | 35 |
| H34 | 屋上防水改修 | 21 |
| H35 | 受水槽改修 | 11 |
| | 計 | 511 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（岐阜県立みどり荘）

| | |
|------|------|
| 施設類型 | 福祉施設 |
|------|------|

1 施設の概要

| | |
|-------|------------|
| 施設名称 | 称岐阜県立みどり荘 |
| 所在地 | 岐阜県中瀬町目55番 |
| 施設延面積 | 1,357.11㎡ |
| 建設年月 | S56年3月 |
| 構造 | 階数 1階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|--------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 管理棟 | S56年3月 | 625.81 | 診断の結果耐震性有 | A | B | 平成31年度 |
| 収容棟 | S56年3月 | 731.30 | 診断の結果耐震性有 | A | B | 平成31年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の見し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------|---------------|
| H29 | 屋上・屋根改修 | 56 |
| H30 | キュービクル、分電盤改修設計 | 2 |
| H31 | キュービクル、分電盤改修 | 20 |
| H31 | テレビ共同受信設備改修 | 1 |
| H31 | 自動火災報知設備改修 | 16 |
| H31 | 中央監視制御設備改修 | 11 |
| H31 | 非常警報設備改修 | 2 |
| H31 | 熱源設備改修 | 26 |
| H31 | 給排水衛生設備改修 | 30 |
| | 計 | 164 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|--------------|---------------|
| 29 | 高圧受変電設備改修 | 3 |
| 29 | ハロゲンガス消火設備改修 | 5 |
| 31 | 空気調和設備改修 | 58 |
| 31 | 昇降機設備改修 | 0.9 |
| 33 | ガス管類改修 | 1.25 |
| 33 | 照明器具改修 | 3 |
| 34 | シート防水等改修 | 2.5 |
| | 計 | 73.65 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(歴史資料館)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------|
| 施設名称 | 歴史資料館 |
| 所在地 | 岐阜市夕陽ヶ丘4 |
| 施設延面積 | 1,783.02㎡ |
| 建設年月 | 昭和51年6月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和51年6月 | 1,783.02 | 診断の結果耐震性有 | B | B | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対処する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（岐阜アリーナ）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------|
| 施設名称 | 岐阜アリーナ |
| 所在地 | 岐阜市藪田南2-1-1 |
| 施設延面積 | 7,801.72㎡ |
| 建設年月 | 昭和40年2月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|--------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 岐阜アリーナ | 昭和40年2月 | 7,801.72 | 耐震補修済 | A | B | 平成29年11月 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

- (1) 基本的な方針
・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。
- (2) その他特記事項
建築後すでに50年を超えており、建て替を念頭に置いた維持保全が必要になってくる。
当面は、損傷箇所を計画的に修理していくこととし、予防保全は特に電気設備等基幹設備のオーバーホールや更新を行っていく予定。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------|---------------|
| H29 | 屋上シート防水等改修 | 278 |
| H29 | 自動ドア改修 | 2 |
| H29 | 電動式取納ステージ改修 | 1 |
| H30 | 正面スロープ解体工事他 | 44 |
| H32 | 会議室等エアコン更新工事他 | 16 |
| H33 | 音響設備改修 | 91 |
| H36 | 高圧変電設備更新 | 14 |
| | 計 | 446 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|------------------------|---------------|
| H29 | 屋根屋上防水工事、電源・空調等設備の更新 | 2,285 |
| H30 | 高圧受変電設備更新、外野トイレ改修、外壁改修 | 971 |
| H30 | 陸上競技場運営システム改修工事他 | 103 |
| H31 | 土間タイル修繕、防火シャッター修繕 | 808 |
| H32 | 高圧受変電設備更新、給排水配管類改修他 | 252 |
| H32 | 高圧受変電設備更新、給排水配管類改修他 | 200 |
| H32 | 低圧分電盤改修、調光器、監視制御装置改修他 | 369 |
| H33 | その他小修繕 | 58 |
| H33 | 監視制御装置更新 | 234 |
| H33 | 照明器具LED化 | 153 |
| H35 | 音響設備改修、給排水配管類改修他 | 556 |
| H36 | 音響設備改修、給排水配管類改修他 | 226 |
| H36 | 音響設備改修、直流電源装置改修他 | 100 |
| | 計 | 141 |
| | | 6,456 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(岐阜メモリアルセンター)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 岐阜メモリアルセンター |
| 所在地 | 岐阜市長良稲光大野2675-28 |
| 施設延面積 | 46,182.19㎡ |
| 建設年月 | 昭和63年3月 |
| 構造 | 鉄骨コンクリート造 |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| サンサンデッキ | 昭和63年3月 | 11,229.88 | 新耐震基準 | D | C | 平成31年度 |
| 第一アリーナ(で愛) | 昭和63年8月 | 8,647.79 | 新耐震基準 | D | D | 平成31年度 |
| 陸上競技場 | 平成29年8月 | 7,090.04 | 新耐震基準 | C | C | 平成31年度 |
| 本館棟 | 昭和63年3月 | 4,431.01 | 新耐震基準 | A | B | 平成31年度 |
| 水泳場 | 平成29年7月 | 3,934.28 | 新耐震基準 | B | C | 平成31年度 |
| 第二アリーナ(ふれ) | 昭和63年3月 | 3,814.81 | 新耐震基準 | A | C | 平成31年度 |
| 野球場 | 平成29年6月 | 3,347.16 | 新耐震基準 | C | C | 平成31年度 |
| 武道館 | 昭和63年3月 | 3,075.80 | 新耐震基準 | A | B | 平成31年度 |
| 戸道場 | 平成29年3月 | 611.42 | 新耐震基準 | A | B | 平成31年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

- (1) 基本的な方針
・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。
- (2) その他特記事項
本施設は、県内スポーツの先進的な役割を果たす中核施設であり、これに代わる施設はない。基本的な更新周期に合った改修を行いつつも、競技ルールの変更や競技場のトレンドを踏まえ、再整備について検討していく必要がある。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|------------------|---------------|
| H29 | 音響設備改修 | 38 |
| H29 | 空気調和設備(ガスヒーポン)改修 | 14 |
| H29 | スプリンクラー改修 | 9 |
| H30 | 雑用ホップユニット取り替え工事他 | 7 |
| H31 | 外壁防水工事 | 79 |
| H32 | 照明設備更新 | 23 |
| H34 | メインスタント防水工事 | 11 |
| | 計 | 181 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(岐阜県グリーンスタジアム)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 岐阜県グリーンスタジアム |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市下切町6-1-4 |
| 施設延面積 | 2,392.72㎡ |
| 建設年月 | 平成12年5月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| グリーンスタジアム | 平成12年5月 | 2,392.72 | 新耐震基準 | D | D | 平成31年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で徹底的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

外壁等、建物の劣化している箇所を優先的に整備する。
また、当該施設は国内トップのホッケー場であり、国際大会や全国大会の会場としても利用されることから、建築設備のみならず、人工芝等競技施設についても、国際基準に合ったものと
し、良好な状態を維持管理していく必要がある。

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（防災交流センター）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 防災交流センター |
| 所在地 | 岐阜県下流良3-11-3 |
| 施設延面積 | 4,049.83㎡ |
| 建設年月 | 平成11年3月 |
| 構造階数 | 教育施設コンクリート造 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| センター棟 | 平成11年3月 | 2,637.02 | 新耐震基準 | B | A | 平成31年度 |
| 宿舎棟 | 平成11年3月 | 1,412.81 | 新耐震基準 | B | A | 平成31年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------------|---------------|
| H29 | 中央監視制御装置更新 | 42 |
| H29 | 地下燃料ポンプ更新 | 22 |
| H30 | ガスタービン発電装置オーバーホール | 56 |
| H31 | 高圧受変電設備更新 | 28 |
| H31 | 自動火災報知装置更新 | 11 |
| H31 | 給排水衛生設備（ポンプ類） | 12 |
| H32 | 屋上・外壁防水 | 13 |
| H32 | 電話交換設備更新 | 20 |
| H33 | UPS直流電源装置（蓄電池）更新 | 43 |
| H34 | 空気調和機更新 | 35 |
| H35 | 電力設備（分電盤）更新 | 18 |
| H35 | 高圧受変電設備更新 | 26 |
| H36 | 高圧受変電設備更新 | 14 |
| | 計 | 340 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
（消防学校）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 消防学校 |
| 所在地 | 岐阜県市川島小瀬町2151 |
| 施設延面積 | 5,613.68㎡ |
| 建設年月 | 昭和48年7月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------|----------|------------|----------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和48年7月 | 1,238.46 | 診断の結果耐震性不 足 | A | B | 平成30年5月1日～ |
| 宿泊棟（まとい寮） | 昭和48年12月 | 1,304.43 | 新耐震基準 | A | B | 平成30年5月1日～ |
| 宿泊棟（寮寮） | 平成8年5月 | 1,564.46 | 新耐震基準 | B | A | 平成30年5月1日～ |
| 屋内訓練場 | 昭和55年3月 | 876.00 | 新耐震基準 | A | C | 平成30年5月1日～ |
| 総合訓練棟 | 平成5年5月 | 630.33 | 新耐震基準 | D | D | 平成30年5月1日～ |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|---------------------|---------------|
| 29 | さくら寮2階廊下塗装、空調改修 | 9 |
| 29 | まとい寮内装改修等 | 34 |
| 29 | 屋内訓練場外壁補修設計 | 3 |
| 30 | まとい寮個別空調化 | 59 |
| 30 | 屋内訓練場外壁補修 | 45 |
| 30 | 総合訓練棟外壁補修設計 | 3 |
| 31 | 本館個別空調化・給湯器ガス化改修等 | 86 |
| 31 | まとい寮班室改修 | 20 |
| 31 | 総合訓練棟外壁補修 | 33 |
| 32 | 食堂建替え | 110 |
| 32 | さくら寮屋上防水 | 25 |
| 33 | 浴場改修・本館及びまとい寮配管改修 | 200 |
| 34 | さくら寮2階照明器具LED化・内装改修 | 10 |
| 35 | 本館高圧引込み改修 | 4 |
| 35 | さくら寮1階照明器具LED化・内装改修 | 8 |
| 35 | 総合訓練棟分電盤取替え | 1 |
| 36 | さくら寮3階照明器具LED化・内装改修 | 6 |
| | 計 | 656 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（岐阜県県民ふれあい会館）

| | |
|------|------------|
| 施設類型 | 教育・文化・体育施設 |
|------|------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | 岐阜県県民ふれあい会館 |
| 所在地 | 岐阜市葭田南5-14-53 |
| 施設延面積 | 40,782.92㎡ |
| 建設年月 | 平成5年10月 |
| 構造階数 | （鉄骨筋コンクリート造）14階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 ・平成20年度 |
|----|---------|------------|--------------|---------|----|------------------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 平成5年10月 | 40,782.92 | 新耐震基準 | C | C | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------------|---------------|
| H29 | 中央監視システム更新（熱源部分） | 161 |
| H30 | 中央監視システム更新（空調コントロール系） | 343 |
| | 冷水プレート熱交換器修繕 | 13 |
| | 圧縮機2オイル・部品更新 | 7 |
| | 自動火災報知設備改修設計 | 7 |
| | ホールワイヤレス設備更新 | 5 |
| | 1階デッキ階段下路面補修 | 4 |
| | トイレ改修 | 10 |
| | 空気調和設備修繕（自動制御装置修繕1） | 5 |
| H31 | 屋上・屋根防水 | 34 |
| | 駐車場舗装 | 9 |
| | 高圧受変電設備改修 | 20 |
| | 直流電源装置更新 | 35 |
| | 自動火災報知設備更新 | 409 |
| | 保安閉閉施設更新 | 22 |
| | 動力制御盤リレー更新 | 15 |
| | 冷温水配管修繕 | 10 |
| | 屋根躯体改修 | 3 |
| | 非常用照明バッテリー改修 | 2 |
| | 受変電設備（高圧引込み）改修 | 2 |
| | 電話交換設備一部改修 | 5 |
| | 自動ドア改修 | 6 |
| | 圧縮機1モーター更新 | 5 |
| | 空気調和設備修繕（自動制御装置修繕2） | 5 |
| | 冷温水発生機修繕 | 5 |
| | 誘導灯修繕 | 4 |
| | スプリングラー設備修繕 | 2 |
| | 自家発電設備部品交換 | 11 |
| H32 | 外構舗装修繕 | 10 |
| | 非常警報装置修繕 | 38 |
| | 冷却塔修繕 | 17 |
| | ハロゲン消火設備改修 | 9 |
| | ホール映像音響設備更新 | 96 |
| | 圧縮機2モーター更新 | 5 |
| | 空気調和設備修繕（自動制御装置修繕3） | 5 |
| | 冷温水発生機修繕 | 3 |
| H33 | 外壁防水予防修繕 | 126 |
| | ホール調光盤更新 | 100 |
| | 排煙設備等改修 | 36 |
| | 圧縮機1オイル・部品更新 | 6 |
| | 空気調和設備修繕（自動制御装置修繕4） | 5 |
| | 冷温水発生機修繕 | 6 |
| | 航空誘導灯設備改修 | 6 |
| H34 | 照明器具更新 | 234 |
| | 昇降機設備改修（エレベーター） | 325 |
| | 照明器具更新 | 5 |
| | 低圧分電盤更新 | 9 |
| | 圧縮機2オイル・部品更新 | 6 |
| | 空気調和設備部品交換（自動制御装置） | 2 |
| H35 | 圧縮機1モーター更新 | 5 |
| | 空気調和設備部品交換（自動制御装置） | 2 |
| | 受水槽等タンク部分修繕 | 5 |

| | | |
|-----|---------------------|-------|
| | テレビ共同受信装置更新 | 10 |
| | 高圧変電設備更新 | 100 |
| | 空気調和設備改修 | 462 |
| | 昇降機設備改修 (エスカレーター) | 272 |
| H36 | 第1棟OAフロア更新 (5階~13階) | 340 |
| | ダイヤル発電装置更新 | 100 |
| | 空気調和器改修 | 96 |
| | 冷温水配管 | 50 |
| | 給排制御装置改修 | 50 |
| | 圧縮機2モーター更新 | 5 |
| | 空気調和設備部品交換 (自動制御装置) | 2 |
| | 計 | 3,707 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（飛騨・世界生活文化センター）

| | |
|------|------------|
| 施設類型 | 教育・文化・体育施設 |
|------|------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名 | 飛騨・世界生活文化センター |
| 所在地 | 岐阜県高山市千島町900-1 |
| 施設延面積 | 23,937.83㎡ |
| 建設年月 | 平成13年5月 |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| コンベンションホール | 平成13年5月 | 8,226.45 | 新耐震基準 | B | C | 平成20年度 |
| ミュージアム棟 | 平成13年7月 | 6,775.28 | 新耐震基準 | B | C | 平成20年度 |
| 芸術堂 | 平成13年7月 | 3,618.34 | 新耐震基準 | B | B | 平成20年度 |
| エントランス棟 | 平成13年5月 | 3,008.75 | 新耐震基準 | B | B | 平成20年度 |
| 食遊館 | 平成13年7月 | 2,309.01 | 新耐震基準 | B | B | 平成20年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-------------------------|---------------|
| 29 | ガスタービン非常用発電機点検 | 27 |
| 29 | 自動火災報知装置修繕 | 22 |
| 30 | 中央監視装置更新 | 47 |
| 30 | 空調機器部品交換（冷温水発生器、チラー） | 22 |
| 30 | 屋根防水保護材クラック修繕 | 1 |
| 30 | オストメイトトイレ設置 | 2 |
| 31 | コンベンションホール屋上屋根・外壁修繕 | 40 |
| 31 | 空調機器更新（冷却塔・空調ポンプインバーター） | 29 |
| 31 | 駐車場バリアフリー化 | 9 |
| 32 | 吊物改修工事 | 38 |
| 32 | 非常用発電機エンジンオーバーホール・点検 | 36 |
| 32 | 展示照明修繕 | 25 |
| 32 | 芸術堂屋上屋根・外壁修繕 | 40 |
| 32 | 加圧給水更新 | 20 |
| 32 | LPガス点検 | 3 |
| 33 | ミュージアム棟外壁・屋根修繕 | 40 |
| 33 | 展示照明修繕 | 10 |
| 34 | 空調機器修繕 | 133 |
| 34 | エントランス棟シート・外壁修繕 | 30 |
| 34 | 消火器更新 | 2 |
| 35 | 食遊館外壁・屋上修繕 | 23 |
| 35 | 照明器具更新 | 30 |
| 34 | 空調機エアハンドリングユニット更新 | 130 |
| 35 | 空調機エアハンドリングユニット更新 | 40 |
| 35 | 空調機ポンプ類更新 | 30 |
| 36 | 照明器具更新 | 80 |
| 36 | 防犯カメラ更新 | 15 |
| 36 | 照明・音響卓更新（設計） | 9 |
| 36 | 空調機エアハンドリングユニット更新 | 20 |
| 36 | 非常用照明電池交換 | 3 |
| 36 | 非常用発電機点検 | 9 |
| 36 | 電話設備更新 | 5 |
| | 計 | 970 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（ぎふ清流文化プラザ）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | ぎふ清流文化プラザ |
| 所在地 | 岐阜市学園町3-42 |
| 施設延面積 | 14,489.04㎡ |
| 建設年月 | 平成6年7月 |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 5階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----|--------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 平成6年7月 | 14,489.04 | 新耐震基準 | B | A | 平成20年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|------------------|---------------|
| H29 | 庭園改修 | 26 |
| | ホール舞台幕地改修 | 7 |
| H30 | ホール調光装置（操作卓）改修 | 40 |
| | ホール映像設備一部改修 | 10 |
| | 滝・噴水水中ポンプ修繕 | 2 |
| | 地下駐車場側自動ドア改修 | 6 |
| H31 | ホール音響設備更新 | 58 |
| | ホール調光装置（基盤等）更新 | 183 |
| | 汚水配管更新 | 15 |
| | ホール吊物機構（ロープ等）交換 | 76 |
| | ホール可動床制御器改修 | 91 |
| | 高圧変電設備修繕 | 6 |
| | 冷温水発生機修繕 | 2 |
| | 雑用水ポンプ修繕 | 3 |
| | ゴンドラ修繕 | 3 |
| H32 | 屋上防水 | 51 |
| | 直流電源装置更新 | 27 |
| | ホール吊物機構（電気系統）更新 | 45 |
| | 水冷式スクリーンチラー一部品交換 | 4 |
| | 駐車場機械設備改修 | 8 |
| H33 | 熱源用ポンプ等改修 | 33 |
| | 滝・噴水水中ポンプ更新 | 6 |
| | ホール床修繕 | 10 |
| H34 | ボイラー更新 | 23 |
| | 空調用ポンプ等改修 | 43 |
| H35 | 冷温水発生器更新 | 68 |
| | 配管（消防系）塗装 | 23 |
| H36 | 外壁シーリング | 150 |
| | 分電盤（低圧）更新 | 200 |
| | 発電設備更新 | 100 |
| | 防排設備更新 | 120 |
| | 空気調和器（7700ℓ等）更新 | 130 |
| | 冷却塔更新 | 10 |
| | 空調用ポンプ | 60 |
| | 冷温水配管更新 | 100 |
| | 雑用水配管更新 | 80 |
| | 衛生器具更新 | 20 |
| | 監視制御装置修繕 | 3 |
| | 電気時計更新 | 7 |
| | 駐車場機械設備改修 | 8 |
| | ゴンドラ改修 | 7 |
| | 計 | 1,864 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（岐阜県図書館）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------|
| 施設名称 | 岐阜県図書館 |
| 所在地 | 岐阜市字佐々4-2-1 |
| 施設延面積 | 25,206.07㎡ |
| 建設年月 | 平成7年2月 |
| 構造 | 鉄筋・鉄骨コンクリート造 |
| 階数 | 2階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等の結果 | 主要部位の状態 | | | 点検の実施時期 |
|-----|--------|------------|----------|---------|----|-----|---------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | その他 | |
| 図書館 | 平成7年2月 | 25,206.07 | 新耐震基準 | D | C | | 平成30年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

年間約5.5万人の県民が利用する施設であるため、長期休館が必要となる改修については、集約して実施するように計画する必要がある。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--------------------------|---------------|
| R29 | 屋上防水改修 | 24 |
| R30 | 屋上防水改修 | 259 |
| R30 | 改修設計費用（特定天井・外壁・舞台機構設備） | 15 |
| R31 | 特定天井改修 | 103 |
| R31 | 外壁塗装、シーリング打ち替え等 | 151 |
| R31 | 舞台機構設備更新 | 141 |
| R31 | 改修設計費用（分電盤・太陽光発電設備） | 6 |
| R32 | 分電盤更新 | 38 |
| R32 | 太陽光発電設備改修 | 12 |
| R32 | 改修設計費用（電動書架新設） | 21 |
| R33 | 電動書架新設・既設電動書架部分改修 | 298 |
| R33 | 改修設計費用（給排水衛生設備：タンク類・配管類） | 5 |
| R34 | 給排水衛生設備タンク改修 | 10 |
| R34 | 給排水衛生設備配管改修 | 20 |
| R34 | 改修設計費用（駐車場管槽装置） | 3 |
| R35 | 駐車場管槽装置改修 | 24 |
| R35 | 改修設計費用（中央監視制御装置・防火シャッター） | 7 |
| R36 | 中央監視制御装置部分改修 | 15 |
| R36 | 防火シャッター等改修 | 63 |
| R36 | 改修設計費用（空気調和設備更新） | 18 |
| | 計 | 1,233 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------------------|---------------|
| H29 | (東館Ⅱ) 屋上防水改修 | 22 |
| H30 | (本館) 屋上防水改修、外壁改修 | 25 |
| H31 | (中館) 屋上防水改修 | 15 |
| H31 | (北館) 屋上防水改修、外壁改修 | 20 |
| H32 | (東館Ⅰ) 屋上防水改修 | 15 |
| H32 | (本館) 防災装置更新(火災報知装置、非常警報装置) | 30 |
| | 計 | 127 |

※費用仮置き(公共建築課で積算)

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(文化財保護センター)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 文化財保護センター |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市三田町東1-26-1 |
| 施設延面積 | 5,803.74㎡ |
| 建設年月 | 昭和50年9月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 北館 | 昭和50年9月 | 611.04 | - | C | C | H29.12(予定) |
| 東館Ⅰ | 昭和40年9月 | 1,341.45 | - | C | C | H29.12(予定) |
| 東館Ⅱ | 昭和40年9月 | 1,768.54 | - | D | C | H29.12(予定) |
| 体育館 | 昭和40年9月 | 638.20 | - | C | C | H29.12(予定) |
| 本館 | 昭和52年3月 | 775.72 | 診断の結果耐震性有 | C | C | H29.12(予定) |
| 中館 | 昭和52年3月 | 668.79 | 診断の結果耐震性有 | C | C | H29.12(予定) |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生のみ)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。
・耐震診断や最小限必要となる施設修繕の実施により、安全と共に発掘調査で出土した遺物の保管場所を確保する。

(2) その他特記事項

築後40年ほどとなる本館、中館及び北館は、耐用年数65年と想定することにより問題がなければ、それまでの間に種々の状況を勘案しながら、耐用年数の検査を行うことが必要である。なお、築後52年を経過している東館(Ⅰ、Ⅱ)及び体育館の用途は遺物の収蔵庫であり、常時人が立ち入ることにはないため65年経過後も継続使用とし、年々増加する遺物によって減少する収蔵スペースにも注意しつつ本館等の再整備に併せての検討とすることも必要と考える。

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（博物館）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 博物館 |
| 所在地 | 関市小島名1989 |
| 施設延面積 | 10,397.33㎡ |
| 建設年月 | 昭和50年7月 |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造 2階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和50年7月 | 8,708.71 | 耐震補強済 | C | D | 平成29年12月 |
| マイ・ミュージアム棟 | 平成7年3月 | 1,688.62 | 新耐震基準 | C | C | 平成29年12月 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

・館内照明について段階的にLED化（10年計画）を実施。（中長期保全計画を変更）
昭和51年の開館から42年間、従来の蛍光灯を使用しているが、LED照明の普及・加速により従来照明器具の製造中止が見込まれる。LED化により、省エネ効果による光熱費の削減や、貴重な展示資料への保護効果が得られる。資料保護のため展示室を優先し実施。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|--------------------------|---------------|
| 29 | 非常警報装置修繕 | 41 |
| 30 | 館内照明LED化（特別展示室） | 9 |
| 30 | 館外施設「旧徳山村民家」屋根葺替及び耐震補強工事 | 3 |
| 31 | 館内照明LED化（企画展示室） | 6 |
| 31 | 館外施設「旧徳山村民家」屋根葺替及び耐震補強工事 | 27 |
| 32 | 館内照明LED化（人文展示室） | 6 |
| 32 | 館外施設「旧徳山村民家」屋根葺替及び耐震補強工事 | 11 |
| 33 | 館内照明LED化（自然展示室1） | 6 |
| 34 | 館内照明LED化（自然展示室2） | 6 |
| 35 | 館内照明LED化（マイ・ミュージアム棟） | 9 |
| 36 | 館内照明LED化（本館3・4階共有スペース） | 8 |
| 36 | マイミュージアム棟エレベーター改修 | 23 |
| 36 | 本館屋上シート防水改修 | 11 |
| | 計 | 166 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|------------------|---------------|
| H29 | 電話機交換設備修繕 | 2 |
| H29 | 監視制御装置修繕 | 7 |
| H29 | 空気調和設備(ポンプ類)修繕 | 3 |
| H30 | 電話機交換設備修繕 | 1 |
| H30 | 給湯ボイラ | 5 |
| H31 | 冷温水養生装置更新・中央制御装置 | 56 |
| H32 | 高圧受電設備 | 9 |
| H34 | 重油タンク内面ラーニング | 5 |
| H36 | タンク類(受水槽・高置水槽) | 5 |
| H36 | 自動火災報知機 | 2 |
| | 計 | 95 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(下呂看護専門学校)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 下呂看護専門学校 |
| 所在地 | 岐阜県下呂市幸田1-1-28-1 |
| 施設延面積 | 2,338.63㎡ |
| 建設年月 | 昭和59年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和59年3月 | 1,220.85 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 学生寄宿舎 | 昭和59年3月 | 615.54 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 学生常宿舎 | 昭和59年3月 | 502.24 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生のみ)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
（国際たくみアカデミー）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | | | |
|-------|--------------------|--|--|
| 施設名称 | 国際たくみアカデミー | | |
| 所在地 | 岐阜県加茂市鉢屋町上野屋3543-3 | | |
| 施設延面積 | 9,651.86㎡ | | |
| 建設年月 | 平成17年3月 | | |
| 構造階数 | 新庁舎5階コンクリート造 2階建て | | |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等の結果 | | 主要部位の状態 | | 点検の実施時期 |
|-----|---------|------------|----------|-------|---------|----|---------|
| | | | 新耐震基準 | 旧耐震基準 | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 実習棟 | 平成17年3月 | 4,192.48 | 新耐震基準 | 新耐震基準 | D | D | - |
| 実習棟 | 昭和57年3月 | 2,244.60 | 新耐震基準 | 新耐震基準 | D | B | - |
| 本館棟 | 平成17年3月 | 1,457.45 | 新耐震基準 | 新耐震基準 | A | A | - |
| 本館棟 | 昭和57年3月 | 709.13 | 新耐震基準 | 新耐震基準 | A | B | - |
| 寄宿舎 | 昭和57年3月 | 600.20 | 新耐震基準 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度 |
| 体育館 | 昭和59年3月 | 448.00 | 新耐震基準 | 新耐震基準 | D | D | 平成30年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

| |
|--|
| |
|--|

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------|------------------|---------------|
| H29 | 開発校 実習棟 | 外壁・シーリング 工事設計 | 3 |
| H29 | 開発校 実習棟 | 照明器具取替 工事設計 | 1 |
| H29 | 開発校 実習棟 | 配管類 工事設計 | 1 |
| H29 | 開発校 本館棟 | 分電盤 工事 | 6 |
| H30 | 開発校 実習棟 | 給排水衛生設備 配管等 調査 | 1 |
| H30 | 開発校 本館棟 | 給排水衛生設備 配管等 調査 | 4 |
| H30 | 開発校 本館棟 | 給排水衛生設備 トイレ改修 設計 | 2 |
| H30 | 開発校 寄宿舎 | 給排水衛生設備 配管等 調査 | 4 |
| H30 | 開発校 寄宿舎 | 給排水衛生設備 トイレ改修 設計 | 3 |
| H30 | 開発校 体育館 | 給排水衛生設備 配管等 調査 | 1 |
| H30 | 開発校 実習棟 | 外壁・シーリング 工事 | 81 |
| H30 | 開発校 実習棟 | 照明器具取替 工事 | 37 |
| H30 | 開発校 実習棟 | 配管類 工事 | 15 |
| H31 | 開発校 実習棟 | 給排水衛生設備 配管等 設計 | 1 |
| H31 | 開発校 本館棟 | 監視制御装置 設計 | 2 |
| H31 | 開発校 本館棟 | 給排水衛生設備 タンク等 設計 | 1 |
| H31 | 開発校 本館棟 | 給排水衛生設備 配管等 設計 | 1 |
| H31 | 開発校 寄宿舎 | 給排水衛生設備 配管等 設計 | 1 |
| H31 | 開発校 寄宿舎 | 給排水衛生設備 配管等 設計 | 1 |
| H31 | 開発校 実習棟 | 屋上・屋根・シーリング等 設計 | 3 |
| H31 | 短大校 実習棟 | 外壁・シーリング等 設計 | 14 |
| H31 | 短大校 実習棟 | 空調調和設備(熱源設備) 設計 | 18 |
| H31 | 開発校 本館棟 | 給排水衛生設備 トイレ改修 工事 | 30 |
| H31 | 開発校 寄宿舎 | 給排水衛生設備 トイレ改修 工事 | 50 |
| H32 | 短大校 本館棟 | 外壁・シーリング 設計 | 5 |
| H32 | 短大校 本館棟 | 受変電設備 高圧受変電設備 設計 | 2 |
| H32 | 短大校 本館棟 | 監視制御設備 設計 | 2 |
| H32 | 短大校 本館棟 | 空調調和設備(熱源設備) 設計 | 6 |
| H32 | 開発校 本館棟 | 外壁・シーリング等 設計 | 3 |
| H32 | 開発校 実習棟 | 配管類 工事 | 30 |
| H32 | 開発校 本館棟 | 監視制御装置 工事 | 23 |
| H32 | 開発校 本館棟 | 高架水槽 工事 | 8 |
| H32 | 開発校 本館棟 | 配管 工事 | 8 |
| H32 | 開発校 寄宿舎 | 配管類 工事 | 15 |
| H32 | 開発校 体育館 | 配管類 工事 | 3 |
| H32 | 短大校 実習棟 | 屋根、屋上 シート防水 工事 | 49 |
| H32 | 短大校 実習棟 | 外壁・シーリング等 工事 | 302 |
| H32 | 短大校 実習棟 | 空調調和設備(熱源設備) 工事 | 194 |
| H33 | 短大校 本館棟 | 外壁・シーリング 工事 | 105 |
| H33 | 短大校 本館棟 | 受変電設備 高圧受変電設備 工事 | 45 |
| H33 | 短大校 本館棟 | 監視制御装置 工事 | 23 |
| H33 | 短大校 本館棟 | 空調調和設備(熱源設備) 工事 | 68 |
| H33 | 開発校 本館棟 | 外壁・シーリング 工事 | 51 |
| H36 | 短大校 実習棟 | 自動火災報知機取替 設計 | 5 |
| H36 | 短大校 実習棟 | 電気設備 設計 | 1 |
| H36 | 短大校 本館棟 | 屋上・屋根 シート防水等 設計 | 2 |
| H36 | 短大校 本館棟 | 電話交換設備 設計 | 5 |
| H36 | 短大校 本館棟 | 電気設備 設計 | 1 |
| H36 | 短大校 本館棟 | 機械設備 設計 | 1 |
| H36 | 短大校 実習棟 | 電気設備 工事 | 3 |
| H36 | 短大校 本館棟 | 電気設備 工事 | 21 |
| H36 | 短大校 本館棟 | 機械設備 工事 | 2 |
| 計 | | | 1,264 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------------------|---------------|
| H29 | トイレ改修工事 | 3 |
| H30 | 屋上・屋根シート防水、外壁塗装(本館棟)設計 | 3 |
| H30 | 屋上・屋根シート防水、外壁塗装(実習棟A)設計 | 2 |
| H30 | 給湯器・空調機器等取替改修工事 | 23 |
| H31 | 屋上・屋根シート防水、外壁塗装(本館棟)工事 | 72 |
| H31 | 屋上・屋根シート防水、外壁塗装(実習棟A)工事 | 32 |
| H31 | 屋上・屋根シート防水、外壁塗装(実習棟B)設計 | 2 |
| H31 | 照明器具更新(本館棟) | 12 |
| H31 | 高圧受電設備更新 | 13 |
| H32 | 屋上・屋根シート防水、外壁塗装(実習棟B)工事 | 19 |
| H32 | 照明器具更新(実習棟B) | 13 |
| H32 | 電気設備(実習棟B)設計 | 3 |
| H33 | 給排水配管更新(実習棟B) | 3 |
| H33 | 給排水配管更新(本館棟) | 3 |
| H33 | 自動火災報知装置更新 | 9 |
| H33 | 機械設備(実習棟B)設計 | 1 |
| H33 | 機械設備(本館棟)設計 | 1 |
| H34 | 機械設備(実習棟B)工事 | 2 |
| H34 | 機械設備(本館棟)工事 | 2 |
| H34 | 電気設備(本館棟)設計 | 2 |
| H35 | 電気設備(本館棟)工事 | 8 |
| 計 | | 228 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(木工芸術スクール)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名 | 称木工芸術スクール |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市山崎町1-123 |
| 施設延面積 | 2,555.90㎡ |
| 建設年月 | 昭和61年3月 |
| 構造 | 階数 鉄筋コンクリート造 2階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和61年3月 | 722.40 | 新耐震基準 | B | B | 平成21年度 |
| 実習棟A | 昭和61年3月 | 905.58 | 新耐震基準 | B | B | 平成21年度 |
| 実習棟B | 昭和61年3月 | 927.92 | 新耐震基準 | B | B | 平成21年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
（ソフトピアジャパンセンター）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|---------------|
| 施設名称 | ソフトピアジャパンセンター |
| 所在地 | 大垣市加賀野4-1-7 |
| 施設延面積 | 35,939.54㎡ |
| 建設年月 | 平成8年2月 |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| | 1.3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|---------------|--------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| ソフトピアジャパンセンター | 平成8年2月 | 35,939.54 | 耐震標準部 | D | D | 平成31年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不良発生のみ）、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

県有施設中長期保全計画に基づき維持保全とともに、施設利用の変化などに対応した施設の改修方法を併せて検討する。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|----------------------------|---------------|
| 29 | 誘導灯設備 | 23 |
| 29 | 冷温水発生器 | 39 |
| 29 | ポンプ類 | 14 |
| 29 | 非常警報装置 | 2 |
| 30 | 照明制御システム | 21 |
| 30 | タワー照明[航空障害灯] | 4 |
| 31 | アルミ瓦葺葺（フッ素樹脂塗装） | 16 |
| 31 | 外壁仕上、シーリング等 | 74 |
| 31 | 鉄部塗装他（SOP・フッ素樹脂塗装）[高層凍中層部] | 17 |
| 31 | 高圧受変電設備[モールド型変圧器] | 12 |
| 31 | 非常警報装置（非常放送・非常ベル） | 11 |
| 31 | 熱源設備（冷温水発生機等） | 42 |
| 31 | 空調設備ポンプ類（冷温水P、冷却水P） | 23 |
| 31 | 送風機 | 16 |
| 31 | 給排水衛生設備ポンプ類（汚物水中P、湧水集中P） | 42 |
| 31 | 外壁仕上、シーリング等[搭屋、アトリウム他] | 17 |
| 31 | 鉄部塗装他（SOP・フッ素樹脂塗装）[駐輪場他] | 24 |
| 31 | 高圧受変電設備[蓄電池及びゲート制御] | 3 |
| 31 | 自動火災報知装置[屋内消火器、ホース更新] | 2 |
| 31 | 監視カメラシステム[TV監視設備] | 3 |
| 31 | タワー照明[照明電球] | 2 |
| 31 | 空調調和機（エアハンドリングユニット等）[空調フ] | 6 |
| 31 | 冷却塔[薬剤フロ、冷却塔、冷水チラー] | 5 |
| 32 | 自動火災報知装置[監視盤] | 131 |
| 32 | 鉄部塗装他（SOP・フッ素樹脂塗装）[屋上部] | 11 |
| 32 | 鉄高変圧器オーバーホール | 37 |
| 32 | 監視カメラシステム | 34 |
| 32 | 入退去システム | 51 |
| 32 | 熱源設備（水冷スクリーチラー） | 51 |
| 32 | 冷却塔[4基のうち2基更新] | 55 |
| 32 | 送風機 | 16 |
| 32 | 受変電設備/C-GIS | 10 |
| 32 | 直流電源装置（VCF蓄電池、非常照明用蓄電池） | 13 |
| 32 | 自動火災報知装置[二酸化炭素消火設備] | 6 |
| 32 | 監視制御装置（空調、電力、ポンプ等）[電気時計] | 1 |
| 33 | 照明器具[タワー照明] | 150 |
| 33 | 空調調和機（エアハンドリングユニット等） | 356 |
| 33 | 送風機 | 16 |
| 33 | 照明器具[地下駐車場照明] | 7 |
| 33 | 高圧受変電設備[コンデンサ設備、高圧起電盤] | 10 |
| 33 | 高圧引込み | 5 |
| 33 | 非常警報装置（非常放送・非常ベル）[煙感知器] | 2 |
| 34 | 空調調和機（エアハンドリングユニット等） | 353 |
| 34 | 熱源設備（冷温水発生機等）[冷温水・チラー] | 9 |
| 34 | 空調調和機（エアハンドリングユニット等） | 84 |
| 34 | 直流電源装置（蓄電池）[非常放送用] | 1 |
| 35 | 空調調和機（エアハンドリングユニット等） | 411 |
| 35 | 外壁タイル | 3 |
| 36 | 直流電源装置（蓄電池） | 15 |
| 36 | 非常警報装置（非常放送・非常ベル）[煙感知器] | 2 |
| 36 | 分電盤（低圧） | 475 |
| 36 | タワー照明[全交換] | 181 |
| 36 | 中央監視制御装置（空調、電力、ポンプ等） | 200 |
| | 計 | 3,114 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（ソフトピアジャパン・ドリーム・コア）

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | ソフトピアジャパン・ドリーム・コア |
| 所在地 | 大垣市分層6-52-16 |
| 施設延面積 | 8,528.30㎡ |
| 建設年月 | 平成12年3月 |
| 構造 | 重量鉄骨造 |
| 階数 | 6階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| ソフトピアジャパン・ドリーム・コア | 平成12年3月 | 8,528.30 | 新耐震基準 | D | D | 平成31年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備の不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

県有施設中長期保全計画に基づき維持保全とともに、施設利用の変化などに対応した施設の改修方法を併せて検討する。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-------------------------|---------------|
| 29 | 外壁改修 | 81 |
| 30 | 外壁仕上、シーリング等 | 238 |
| 30 | 電気錠設備 | 40 |
| 30 | 自動ドア[消耗品交換] | 9 |
| 31 | 直流電源装置（蓄電池） | 11 |
| 31 | 自動火災報知装置 | 27 |
| 31 | 集中検針装置 | 17 |
| 31 | 空調機（エアハンドリングユニット等） | 17 |
| 31 | 空調設備ガスヒートポンプ | 37 |
| 31 | 分電盤（低圧） | 6 |
| 31 | 電力電計 | 8 |
| 31 | 高圧受変電設備 | 2 |
| 31 | 放送設備 | 2 |
| 31 | 電気温水器 | 2 |
| 31 | ポンプ類[中水移送P、汚物水中P] | 2 |
| 32 | 照明器具 | 40 |
| 32 | 直流電源装置（整流器） | 10 |
| 32 | 熱源設備（冷温水発生機等） | 40 |
| 33 | 空調機（エアハンドリングユニット等） | 230 |
| 32 | 空調設備ガスヒートポンプ | 37 |
| 32 | テレビ共同受信装置[アンテナ、増幅器] | 5 |
| 32 | 非常警報装置（非常放送、非常ベル） | 5 |
| 32 | 熱源設備（冷温水発生機等） | 2 |
| 32 | ポンプ類[加圧給水P] | 6 |
| 33 | 監視制御装置（空調、電力、ポンプ等） | 15 |
| 33 | 熱源設備（冷温水発生機等）[空冷ヒートポンプ] | 24 |
| 33 | 空調機（エアハンドリングユニット等） | 17 |
| 33 | 屋上・屋根/その他[ガラス大屋根] | 3 |
| 33 | 監視制御装置（空調、電力、ポンプ等）[空調] | 4 |
| 34 | 熱源設備（冷温水発生機等）[空冷ヒートポンプ] | 24 |
| 34 | 自動ドア | 5 |
| 計 | | 966 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-------------------------|---------------|
| 29 | ビルマルチ室外機・室内機 | 6 |
| 30 | ビルマルチ室外機・室内機(定速側圧縮機) | 18 |
| 30 | 屋上・屋根/シート防水[メンテナンス工事] | 6 |
| 31 | 防災誘導灯 | 7 |
| 31 | 外壁仕上、シーリング等[窓枠シーリング補修] | 8 |
| 31 | ポンプ類[給水ポンプ] | 2 |
| 31 | 配管類 | 2 |
| 34 | 外壁仕上、シーリング等 | 57 |
| 35 | 電力量計 | 13 |
| 36 | 照明器具 | 20 |
| 36 | 自動扉 | 11 |
| 36 | 外壁鉄筋・アルミ部・外枠(土間タイル) | 10 |
| 36 | エレビ共同受信装置 | 2 |
| 36 | 自動火災報知装置[火災報知装置] | 4 |
| 36 | 非常警報装置(非常放送、非常ベル)[警報装置] | 3 |
| 36 | ポンプ類[循環ポンプ] | 2 |
| 36 | ビルマルチ室外機 | 10 |
| | 計 | 183 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(ソフトピアジャパン・ワークシヨップ224)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------------|
| 施設名称 | ソフトピアジャパン・ワークシヨップ224 |
| 所在地 | 大垣市今宿6-52-18 |
| 施設延面積 | 11,352.43㎡ |
| 建設年月 | 平成14年3月 |
| 構造 | 重量鉄骨造 |
| | 7階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----------------------|---------|------------|--------------|---------|---|---------------|
| | | | | 屋上・屋根 | C | |
| ソフトピアジャパン・ワークシヨップ224 | 平成14年3月 | 11,352.43 | 新耐震基準 | D | | 2019年1~2月実施予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効果的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

県有施設中長期保全計画に基づく維持保全とともに、施設利用の変化などに対応した施設の改修方法を併せて検討する。

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(農業大学校)

1 施設の概要

| | |
|-------|---------------|
| 施設名称 | 農業大学校 |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市坂戸9-3-8 |
| 施設延面積 | 5,379.47㎡ |
| 建設年月 | 平成4年8月 |
| 構造 | 階数 |
| | 新築コンクリート造 |
| | 4階建て |

| | |
|------|------------|
| 施設類型 | 教育・文化・体育施設 |
|------|------------|

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 男子寮 | 平成4年9月 | 2,191.96 | 新築標準 | B | B | 平成20年度 |
| 本館 | 昭和15年3月 | 914.56 | 耐震補修済 | A | A | 平成20年度 |
| 温室 | 平成3年3月 | 740.16 | 新築標準 | A | A | 平成20年度 |
| 体育館 | 昭和15年3月 | 537.42 | 診断の結果耐震性有 | A | A | 平成20年度 |
| 研修棟 | 平成16年2月 | 985.37 | 新築標準 | A | B | 平成21年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

・研修棟及び実習棟の維持保全管理については国際園芸アカデミーが行い、農産園芸課が所管している。
・学校用建物の木造施設の減価償却資産の耐用年数は22年とされている。研修棟及び実習棟は14年が経過し、今後の腐朽を中心に劣化が進むことが予想されるため、定期的な診断によるのメンテナンスと腐朽箇所の補修を積極的に実施する必要がある。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------------------|---------------|
| H30 | 【男子寮】自動火災報知装置交換 | 4 |
| H31 | 【男子寮】屋根・外壁改修工事 | 58 |
| H31 | 【男子寮】ポンプ修繕 | 6 |
| H31 | 【本館】分電盤・テレビアンテナ改修工事 | 1 |
| H32 | 【男子寮】照明・分電盤・テレビアンテナ改修工事 | 9 |
| H33 | 【温室】給水設備改修 | 8 |
| H33 | 【研修棟】外壁塗装工事 | 10 |
| H34 | 【男子寮】給排水衛生設備改修 | 52 |
| H34 | 【研修棟】LED照明工事 | 5 |
| H35 | 【研修棟】屋上防水工事 | 8 |
| | 計 | 161 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------------------|---------------|
| H29 | 空気調和設備 (GHP、EHP) 修繕 | 28 |
| H30 | アトリエ棟空調更新 | 14 |
| H30 | 電話設備更新(7)、Wi-Fi環境整備(5) | 12 |
| H31 | 電子錠・警備システム更新 | 21 |
| H32 | センター棟空調更新(18)、開放試験棟空調更新(3) | 21 |
| H32 | 屋根・外壁補修 | 60 |
| H32 | 森の情報センター(13)及びテクニカルセンター(10)空調更新 | 23 |
| H33 | 自動火災報知機更新(26)、エレベーター更新(11) | 37 |
| H33 | 屋根・外壁補修 | 26 |
| H33 | 空調設備中央制御装置更新 | 8 |
| | 計 | 222 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(森林文化アカデミー)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------|
| 施設名称 | 森林文化アカデミー |
| 所在地 | 美濃市曾代字上カヨカ8番 |
| 施設延面積 | 7,330.36㎡ |
| 建設年月 | 平成13年1月 |
| 構造 | 木造 |
| 階数 | 2階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| マルチオディア美習棟 | 平成19年1月 | 1,996.15 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年2月予定 |
| アカデミーセンター棟 | 平成19年1月 | 1,756.63 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年2月予定 |
| アトリエ棟 | 平成19年1月 | 951.82 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年2月予定 |
| 森のコテージ | 平成19年6月 | 719.70 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年2月予定 |
| 森の情報センター | 平成19年1月 | 665.83 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年2月予定 |
| テクニカルセンターA | 平成19年6月 | 644.98 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年2月予定 |
| 開放試験棟 | 平成19年3月 | 595.25 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年2月予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効果的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。

(2) その他特記事項

屋根及び外壁については平成30年度に建物老朽化委託調査を実施の上、調査結果に基づき改修計画を見直す予定(平成30年度当初予算要求中)。

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
 (岐阜県総合教育センター)

施設類型 教育・文化・体育施設

1 施設の概要

| | | | |
|-------|-----------------|-----------|------|
| 施設名称 | 岐阜県総合教育センター | | |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市藪田南5丁目9番1 | | |
| 施設延面積 | 7,284.52㎡ | | |
| 建設年月 | S44/09/12 | | |
| 構造 | 階数 | 鉄筋コンクリート造 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|-----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | S44/09/12 | 4,051.35 | 耐震補強済 | C | B | - |
| 理科棟 | S51/08/13 | 2,195.96 | 耐震補強済 | A | B | - |
| 宿泊棟 | S48/03/24 | 1,037.21 | 診断の結果調査済 | C | B | - |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
 C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

| |
|--|
| |
|--|

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------|---------------|
| H29 | 電話交換設備修繕 | 6 |
| H31 | 給排水衛生設備修繕 | 38 |
| H31 | 屋上・屋根修繕 | 3 |
| H32 | 屋上・屋根修繕 | 3 |
| H32 | 外壁塗装、シーリング打ち替え | 1.7 |
| H33 | 屋上・屋根修繕 | 3 |
| H33 | 外壁塗装、シーリング打ち替え | 43 |
| H34 | 屋上・屋根修繕 | 3 |
| H34 | 自動火災報知装置更新 | 1.5 |
| H35 | 屋上・屋根修繕 | 3 |
| H35 | 中央監視制御設備更新 | 66 |
| H36 | 屋上・屋根修繕 | 2.5 |
| | 計 | 173.7 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|--------------|---------------|
| 36 | 北舎/大規模改修(設計) | 29 |
| 37 | 北舎/大規模改修(工事) | 668 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 計 | 697 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)
(加納高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 加納高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県市加納南陽町3丁目17番地 |
| 施設延面積 | 12,515.76㎡ |
| 建設年月 | 昭和44年7月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|--------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 北舎(本館) | 昭和44年7月 | 5,537.27 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 体育館武道場 | 昭和59年11月 | 2,700.00 | 新耐震基準 | A | B | 平成29年度 |
| 南舎(理研棟・美術室棟) | 昭和40年3月 | 2,978.11 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 芸術棟 | 昭和61年3月 | 800.14 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 美術棟 | 昭和54年9月 | 500.24 | 診断の結果耐震性有 | A | A | 平成29年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（羽島北高等学校）

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 羽島北高等学校 |
| 所在地 | 岐阜市柳津町北塚3丁目130番地 |
| 施設延面積 | 9,658.12㎡ |
| 建設年月 | 昭和53年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和53年3月 | 4,228.04 | 耐震補強済 | A | B | 平成28年度 |
| 特別教室棟 | 昭和53年3月 | 3,380.08 | 耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 体育館 | 昭和54年3月 | 1,350.00 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 武道場 | 昭和57年3月 | 700.00 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-----------------|---------------|
| 29 | 武道場/大規模改修(設計) | 6 |
| 30 | 武道場/大規模改修(工事) | 77 |
| 33 | 本館/大規模改修(設計) | 22 |
| 34 | 本館/大規模改修(工事) | 509 |
| 34 | 特別教室棟/大規模改修(設計) | 18 |
| 35 | 特別教室棟/大規模改修(工事) | 407 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 1039 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
（岐阜総合学園高等学校）

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------------|
| 施設名称 | 岐阜総合学園高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市須賀2丁目7番22 |
| 施設延面積 | 19,569.83㎡ |
| 建設年月 | 昭和55年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 3号館（実習棟） | 昭和55年3月 | 5,558.27 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 1号館（本館） | 平成11年3月 | 4,943.20 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 2号館 | 昭和37年8月 | 4,742.26 | 耐震補強済 | B | C | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 昭和63年4月 | 1,350.00 | 新耐震基準 | A | B | 平成30年度予定 |
| 4号館（特別教室） | 平成7年3月 | 900.81 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 昭和47年3月 | 816.00 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| サイクルステーション | 平成10年3月 | 751.29 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 渡廊下 | 平成13年3月 | 508.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

2号館（昭和37年8月建築）については、平成39年に建築から65年を迎えるが、建物躯体の老朽化が著しいため、学校運営における安全確保のためにも改築工事を実施する。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------------|---------------|
| H33 | 4号館/大規模改修(設計) | 7 |
| H34 | 4号館/大規模改修(工事) | 103 |
| H35 | サイクルステーション/大規模改修(設計) | 6 |
| H36 | サイクルステーション/大規模改修(工事) | 93 |
| H30 | 本館/大規模改修(設計) | 27 |
| H30 | 2号館/基本計画策定 | 2 |
| H32 | 2号館/プロポーザル | 7 |
| H33 | 2号館/設計 | 141 |
| H34 | 2号館/改築工事 | 577 |
| H35 | 2号館/改築工事 | 1348 |
| H36 | 2号館/解体工事 | 281 |
| | 計 | 2592 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（岐阜商業高等学校）

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 岐阜商業高等学校 |
| 所在地 | 岐阜市別荘新屋敷1807番地 |
| 施設延面積 | 15,194.84㎡ |
| 建設年月 | 昭和45年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 北舎（特別教室） | 昭和45年3月 | 6,672.27 | 耐震補強済 | B | C | 平成28年度 |
| 南舎（特別教室棟） | 昭和56年3月 | 3,809.55 | 耐震補強済 | A | B | 平成28年度 |
| 体育館武道場 | 昭和57年6月 | 2,700.00 | 新耐震基準 | B | C | 平成28年度 |
| トレーニングセンター | 平成10年3月 | 618.99 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 薬心会館 | 昭和59年11月 | 594.03 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 練習場 | 平成26年10月 | 800.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|----------------------|---------------|
| 31 | 体育館武道場/大規模改修(設計) | 7 |
| 32 | 体育館武道場/大規模改修(工事) | 93 |
| 32 | 薬心会館/大規模改修(設計) | 5 |
| 33 | 薬心会館/大規模改修(工事) | 68 |
| 34 | 北舎/大規模改修(設計) | 34 |
| 35 | 北舎/大規模改修(工事) | 805 |
| 35 | トレーニングセンター/大規模改修(設計) | 5 |
| 36 | トレーニングセンター/大規模改修(工事) | 75 |
| 37 | 南舎/大規模改修(設計) | 20 |
| | 計 | 1112 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（岐南工業高等学校）

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------------------|
| 施設名称 | 岐南工業高等学校 |
| 所在地 | 岐阜市本荘字八ヶ峰3-4-5-6番地1-9 |
| 施設延面積 | 18,647.87㎡ |
| 建設年月 | 昭和54年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|------------------------------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 実習棟 2 | 昭和54年3月 | 5,329.46 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 実習棟 1 | 昭和54年3月 | 5,090.81 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 本館棟 | 昭和54年3月 | 4,526.40 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 体育館 | 昭和55年3月 | 1,350.00 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 実習棟 3 | 昭和55年3月 | 1,126.98 | 耐震補強済 <small>診断の結果不明確性有</small> | A | A | 平成29年度 |
| 特別教室棟 | 平成8年3月 | 874.22 | 新耐震基準 | B | A | 平成29年度 |
| 武道場 | 昭和58年1月 | 350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--------------------|---------------|
| H30 | 実習棟 3 / 大規模改修 (工事) | 52 |
| H30 | 特別教室棟 / 大規模改修 (設計) | 4 |
| H31 | 特別教室棟 / 大規模改修 (工事) | 52 |
| H36 | 本館棟 / 大規模改修 (設計) | 24 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 計 | 132 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|------------------|---------------|
| H30 | 本館/大規模改修(設計) | 7 |
| H31 | 本館/大規模改修(工事) | 92 |
| H33 | 家庭科実習棟/大規模改修(設計) | 4 |
| H34 | 家庭科実習棟/大規模改修(工事) | 54 |
| H30 | 北倉/基本計画策定 | 2 |
| H31 | 北倉/プロポーザル | 7 |
| H32 | 北倉/設計 | 77 |
| H33 | 北倉/改築工事 | 326 |
| H34 | 北倉/改築工事 | 761 |
| H35 | 北倉/解体工事 | 159 |
| | 計 | 1489 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(本巣松陽高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------------|
| 施設名称 | 本巣松陽高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県本巣市弘生寺字系野川通859番地1 |
| 施設延面積 | 9,834.69㎡ |
| 建設年月 | 昭和43年6月 |
| 構造 | 鉄骨コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和43年6月 | 3,466.48 | 耐震補強済 | C | B | 平成20年度予定 |
| 北倉(理科特別棟・普通教室棟) | 昭和35年5月 | 2,659.50 | 耐震補強済 | B | B | 平成20年度予定 |
| 屋内体育館 | 平成1年5月 | 1,350.00 | 新耐震基準 | B | A | 平成20年度予定 |
| 北倉西棟(特別教室棟) | 昭和59年3月 | 1,210.27 | 新耐震基準 | B | B | 平成20年度予定 |
| 昇降口武道場 | 昭和47年10月 | 700.00 | 耐震補強済 | A | B | 平成20年度予定 |
| 家庭科実習棟(特別教室棟) | 平成6年3月 | 448.44 | 新耐震基準 | A | A | 平成20年度予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

北倉(昭和35年5月建築)については、平成37年に建築から65年を迎えるが、建物躯体の老朽化が著しいため、学校運営における安全確保のためにも改築工事を実施する。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-------------------------|---------------|
| 29 | 本館棟/大規模改修(設計) | 6 |
| 30 | 体育館/大規模改修(工事) | 132 |
| 30 | 理科・園芸化学科棟/大規模改修(設計) | 4 |
| 31 | 本館棟、理科・園芸化学科棟/大規模改修(工事) | 172 |
| 31 | 図書情報棟・生物工学科棟/大規模改修(設計) | 15 |
| 32 | 図書情報棟・生物工学科棟/大規模改修(工事) | 321 |
| 36 | 百年記念館/大規模改修(設計) | 4 |
| 計 | | 654 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)
(岐阜農林高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------------|
| 施設名称 | 岐阜農林高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市北方字ノの宮150番地1 |
| 施設延面積 | 16,899.43㎡ |
| 建設年月 | 昭和51年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|---------------------------------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 <small>岐阜県立・生物工学科棟(旧旧館)</small> | 昭和51年3月 | 3,467.88 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 森林・環境化学科棟 | 昭和45年3月 | 2,614.93 | 診断の結果耐震性有 | B | B | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 昭和44年3月 | 2,132.75 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 牛舎 | 昭和61年3月 | 1,350.40 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 理科・園芸化学科棟 | 平成12年12月 | 1,212.81 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 校舎(農場第1棟) | 昭和55年3月 | 2,363.15 | 診断の結果耐震性有 | B | B | 平成30年度予定 |
| 寄宿舎 | 昭和42年3月 | 1,033.74 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 百年記念館 | 昭和53年3月 | 960.06 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 農場第2棟 | 平成11年12月 | 513.32 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 実習棟(農場第3棟) | 昭和52年2月 | 489.99 | 診断の結果耐震性有 | A | A | 平成30年度予定 |
| 格技場 | 昭和60年3月 | 410.40 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 【凡例】 | 平成14年2月 | 350.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全の大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------------|---------------|
| H29 | 武道場/大規模改修(設計) | 3 |
| H30 | 武道場/大規模改修(工事) | 54 |
| H32 | 北舎、同窓会館/大規模改修(設計) | 25 |
| H33 | 北舎、同窓会館/大規模改修(工事) | 507 |
| H30 | 本館(南舎)/基本計画策定 | 2 |
| H31 | 本館(南舎)/プロポーザル | 7 |
| H32 | 本館(南舎)/設計 | 80 |
| H33 | 本館(南舎)/改築工事 | 313 |
| H34 | 本館(南舎)/改築工事 | 730 |
| H35 | 本館(南舎)/解体工事 | 152 |
| 計 | | 1873 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)
(羽島高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------------------|
| 施設名称 | 羽島高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県羽島市竹島町字梅ヶ枝町200番地2 |
| 施設延面積 | 10,285.13㎡ |
| 建設年月 | 昭和50年2月 |
| 構造 | 階数 新築コンクリート造 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 校舎新館(北舎) | 昭和50年2月 | 3,664.17 | 耐震補強済 | B | B | 平成29年度 |
| 体育館 | 平成14年9月 | 3,192.68 | 新耐震基準 | B | B | 平成29年度 |
| 本館(南舎) | 昭和36年7月 | 2,566.34 | 耐震補強済 | B | B | 平成29年度 |
| 同窓会館 | 平成4年9月 | 521.94 | 新耐震基準 | B | B | 平成29年度 |
| 武道場 | 平成4年2月 | 350.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成29年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の寿命命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

本館(南舎)(昭和36年7月建築)については、平成38年に建築から65年を迎えるが、建物躯体の老朽化が著しいため、学校運営における安全確保のためにも改築工事を実施する。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------|---------------|
| H31 | 5号館東側/大規模改修(設計) | 10 |
| H32 | 5号館真側/大規模改修(工事) | 182 |
| H33 | 2号館/大規模改修(設計) | 16 |
| H34 | 2号館/大規模改修(工事) | 350 |
| H35 | 5号館西側、体育館/大規模改修(設計) | 16 |
| H36 | 1号館/大規模改修(設計) | 275 |
| | | 16 |
| | 計 | 865 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(岐阜工業高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------------|
| 施設名称 | 岐阜工業高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県岐阜市常盤町1700番地 |
| 施設延面積 | 23,159.42㎡ |
| 建設年月 | 昭和44年4月 |
| 構造 | 新築コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 2校舎(2号館) | 昭和44年4月 | 2,902.40 | 耐震補強済 | C | C | 平成28年度 |
| 1校舎(1号館) | 昭和43年9月 | 2,872.73 | 耐震補強済 | C | C | 平成28年度 |
| 4号館 | 平成21年10月 | 2,783.39 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| 本館 | 昭和47年9月 | 2,417.52 | 耐震補強済 | C | C | 平成28年度 |
| 3校舎(3号館) | 昭和31年12月 | 2,271.81 | 耐震補強済 | C | C | 平成28年度 |
| 体育館 | 平成7年9月 | 2,020.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 政経学材料(政経システム科棟) | 平成14年9月 | 1,774.81 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 機械棟(実習2号館) | 昭和42年9月 | 1,390.45 | 診断の結果耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 食堂・武道場 | 昭和49年9月 | 919.70 | 耐震補強済 | C | C | 平成28年度 |
| 特別教室棟(5号館西側) | 平成9年9月 | 912.32 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 特別教室棟(5号館東側) | 昭和63年9月 | 1,598.69 | 新耐震基準 | B | C | 平成28年度 |
| 機械工場(実習1号館) | 昭和49年9月 | 765.60 | 診断の結果耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 機械工場(実習3号館) | 昭和45年9月 | 530.00 | 耐震補強済 | C | C | 平成28年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------------|---------------|
| H29 | 体育館、武道場／大規模改修(設計) | 7 |
| H30 | 南舎／大規模改修(設計) | 8 |
| H31 | 南舎、体育館、武道場／大規模改修(工事) | 343 |
| H32 | 更衣室部室／大規模改修(設計) | 82 |
| H35 | 更衣室部室／大規模改修(設計) | 5 |
| H36 | 記念館／大規模改修(工事) | 69 |
| | 計 | 520 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(大垣南高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 大垣南高等学校 |
| 所在地 | 大垣市浅中2丁目69番地 |
| 施設延面積 | 10,316.22㎡ |
| 建設年月 | 昭和49年3月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 南舎(特別教室棟) | 昭和49年3月 | 3,744.70 | 耐震補強済 | C | D | 平成30年度予定 |
| 北舎(普通教室棟) | 昭和49年3月 | 3,613.66 | 耐震補強済 | A | B | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 昭和49年10月 | 1,350.00 | 耐震補強済 | D | C | 平成30年度予定 |
| 更衣室部室 | 昭和49年7月 | 683.01 | 耐震補強済 | A | C | 平成30年度予定 |
| 記念館(南風館) | 平成10年9月 | 574.85 | 新耐震基準 | A | B | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 昭和54年3月 | 350.00 | 診断の結果耐震性有 | B | C | 平成30年度予定 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対処する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の最寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(大垣養老高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | | |
|-------|---------------------|------|
| 施設名称 | 大垣養老高等学校 | |
| 所在地 | 岐阜県養老町龍岡江字向野1418番地4 | |
| 施設延面積 | 19,221.18㎡ | |
| 建設年月 | 平成18年3月 | |
| 構造 | 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 総合学科棟(東館) | 平成18年3月 | 4,568.54 | 新耐震基準 | A | B | 平成20年度予定 |
| 産振第1棟(産振校舎) | 昭和46年3月 | 3,453.79 | 耐震補強済 | A | A | 平成20年度予定 |
| 本館 | 昭和46年3月 | 3,398.40 | 耐震補強済 | A | B | 平成20年度予定 |
| 体育館武道場 | 平成17年3月 | 3,084.14 | 新耐震基準 | A | A | 平成20年度予定 |
| 寄宿舍 | 昭和46年3月 | 1,976.27 | 耐震補強済 | A | A | 平成20年度予定 |
| 産振第2棟(第3校舎) | 昭和47年2月 | 1,489.48 | 診断の結果耐震性有 | A | A | 平成20年度予定 |
| 産振第3棟(特別教室) | 平成4年3月 | 672.56 | 新耐震基準 | C | C | 平成20年度予定 |
| 牛舎 | 平成20年3月 | 578.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成20年度予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある)

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 実施等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------|---------------|
| H29 | 寄宿舍/大規模改修(設計) | 10 |
| H31 | 寄宿舍/大規模改修(工事) | 212 |
| H32 | 産振第3棟/大規模改修(設計) | 5 |
| H33 | 産振第3棟/大規模改修(工事) | 78 |
| H34 | 産振第1棟/大規模改修(設計) | 19 |
| H35 | 産振第1棟/大規模改修(工事) | 424 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 748 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--------------------------|---------------|
| H30 | 機械科教室／大規模改修(工事) | 50 |
| H31 | 工業化学科校舎、食堂、情報棟／大規模改修(設計) | 20 |
| H32 | 工業化学科校舎、食堂、情報棟／大規模改修(工事) | 324 |
| H32 | 北舎、電子機械科棟／大規模改修(設計) | 27 |
| H33 | 北舎、電子機械科棟／大規模改修(工事) | 561 |
| H33 | 体育館、家庭科棟・機械科棟／大規模改修(設計) | 27 |
| H34 | 体育館、家庭科棟・機械科棟／大規模改修(工事) | 545 |
| H35 | 東舎、本館棟、練習場／大規模改修(設計) | 33 |
| H36 | 東舎、本館棟、練習場／大規模改修(工事) | 628 |
| 計 | | 2,215 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(大垣工業高等学校)

施設類型 高等学校、特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | 大垣工業高等学校 |
| 所在地 | 大垣市南若森町字中久後301番地1 |
| 施設延面積 | 22,950.88㎡ |
| 建設年月 | 昭和38年11月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 南舎(第4校舎) | 昭和38年11月 | 4,130.36 | 耐震補強済 | D | C | 平成28年度 |
| 繊維科校舎(東舎) | 昭和49年2月 | 2,610.03 | 耐震補強済 | A | B | 平成28年度 |
| 体育館 | 平成7年9月 | 2,020.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 北舎(建築科校舎・土木校舎) | 昭和46年3月 | 3,760.80 | 耐震補強済 | A | D | 平成28年度 |
| 本館棟(管理棟) | 昭和48年3月 | 1,753.14 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 工業化学科校舎 | 昭和41年3月 | 1,644.86 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 特別教室(電子機械科棟) | 平成2年3月 | 936.86 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 特別教室(空想科棟)・機械科棟 | 平成6年3月 | 3,196.37 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 練習場(豊栄館) | 平成8年6月 | 795.92 | 新耐震基準 | C | D | 平成28年度 |
| 機械科教室(新館) | 昭和50年3月 | 684.54 | 診断の結果耐震性有 | A | A | 平成28年度 |
| 食堂 | 昭和48年3月 | 576.60 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 武道場 | 昭和53年3月 | 350.00 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 特別棟(情報棟) | 昭和61年3月 | 491.40 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------|---------------|
| H29 | 武道場/大規模改修(工事) | 94 |
| H30 | 総合学科棟/大規模改修(工事) | 138 |
| H30 | 食品流通棟/大規模改修(設計) | 5 |
| H31 | 食品流通棟/大規模改修(工事) | 65 |
| H34 | 第1校舎/大規模改修(設計) | 20 |
| H35 | 第1校舎/大規模改修(工事) | 457 |
| H35 | 第2校舎/大規模改修(設計) | 19 |
| H35 | 寄宿舎/大規模改修(設計) | 6 |
| H36 | 第2校舎/大規模改修(工事) | 442 |
| H36 | 寄宿舎/大規模改修(工事) | 98 |
| 計 | | 1,344 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(郡上高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------------|
| 施設名称 | 郡上高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県郡上郡八幡町小野松山下970番地1 |
| 施設延面積 | 14,407.99㎡ |
| 建設年月 | 昭和44年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|---------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 第1校舎 | 昭和44年3月 | 3,621.26 | 耐震補強済 | A | B | 平成29年度 |
| 第2校舎 | 昭和43年7月 | 3,514.26 | 耐震補強済 | A | B | 平成29年度 |
| 総合学科棟 | 平成10年12月 | 2,359.20 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 体育館 | 平成20年5月 | 2,124.91 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 農林実験棟(森林科学科棟) | 昭和53年3月 | 1,047.38 | 診断の結果耐震済 | A | A | 平成29年度 |
| 寄宿舎 | 平成10年4月 | 786.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 食品流通棟 | 昭和63年9月 | 604.98 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 武道場 | 昭和62年1月 | 350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全の大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|--------------------|---------------|
| H29 | 本館(第1校舎)/大規模改修(工事) | 115 |
| H30 | 本館(第1校舎)/大規模改修(工事) | 93 |
| H30 | 体育館/大規模改修(設計) | 7 |
| H31 | 体育館/大規模改修(工事) | 87 |
| H32 | 第二校舎/大規模改修(設計) | 11 |
| H33 | 第二校舎/大規模改修(工事) | 199 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 512 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(関有知高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 関有知高等学校 |
| 所在地 | 関市下有知字松ヶ洞6191番地3 |
| 施設延面積 | 7,900.90㎡ |
| 建設年月 | 昭和52年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館(第1校舎) | 昭和52年3月 | 3,281.13 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 第二校舎 | 昭和59年3月 | 1,752.27 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| 体育館 | 昭和53年2月 | 1,350.00 | 耐震補強済 | A | C | 平成28年度 |
| 生活福祉科棟 | 平成17年2月 | 1,167.50 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 武道場 | 昭和57年3月 | 350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全の大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------|---------------|
| H29 | 第2校舎/大規模改修(設計) | 4 |
| H30 | 第2校舎/大規模改修(工事) | 107 |
| H30 | 第1棟/基本計画策定 | 2 |
| H33 | 第1棟/プロポーザル | 7 |
| H34 | 第1棟/改築(設計) | 84 |
| H35 | 第1棟/改築(工事) | 357 |
| H36 | 第1棟/改築(工事) | 832 |
| | 計 | 1,393 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)
(加茂高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|---------------------|
| 施設名称 | 加茂高等学校 |
| 所在地 | 美濃加茂市本郷町2丁目字宮浦1番地34 |
| 施設延面積 | 9,222.12㎡ |
| 建設年月 | 昭和47年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 第2校舎 | 昭和47年3月 | 2,968.68 | 耐震補強済 | C | C | 平成30年度予定 |
| 第1棟 | 昭和39年6月 | 2,913.56 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 昭和56年2月 | 1,350.00 | 2階の柱・梁等に腐朽 | D | B | 平成30年度予定 |
| 特別教室棟(第三棟) | 昭和60年3月 | 1,290.48 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 平成12年8月 | 699.40 | 新耐震基準 | A | B | 平成30年度予定 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

第1棟(昭和39年6月建築)については、平成41年に建築から65年を迎えるが、建物躯体の老朽化が著しいため、学校運営における安全確保のためにも改築工事を実施する。

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（加茂農林高等学校）

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | 加茂農林高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県加茂市本郷町3丁目3番13号 |
| 施設延面積 | 14,527.49㎡ |
| 建設年月 | 昭和57年3月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和57年3月 | 3,603.62 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 産振棟（北棟） | 昭和45年2月 | 2,321.69 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 生活科棟（理科棟） | 昭和44年3月 | 1,680.88 | 診断の結果耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 特別教室（中棟） | 平成2年3月 | 1,446.12 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 平成5年8月 | 1,350.00 | 新耐震基準 | B | C | 平成30年度予定 |
| 特別棟（南棟） | 昭和59年2月 | 1,225.67 | 新耐震基準 | D | B | 平成30年度予定 |
| 肉牛舎 | 平成10年3月 | 1,184.00 | 新耐震基準 | B | A | 平成30年度予定 |
| 寄宿舍 | 昭和55年3月 | 757.00 | 診断の結果耐震補強済 | C | A | 平成30年度予定 |
| 生物生産実習棟 | 平成19年3月 | 608.41 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 昭和49年2月 | 350.10 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------------|---------------|
| H29 | 特別棟（南棟）／大規模改修（設計） | 4 |
| H30 | 特別棟（南棟）／大規模改修（工事） | 84 |
| H30 | 寄宿舍／大規模改修（工事） | 84 |
| H32 | 特別教室（中棟）／大規模改修（設計） | 10 |
| H33 | 特別教室（中棟）／大規模改修（工事） | 167 |
| H33 | 体育館／大規模改修（設計） | 8 |
| H34 | 体育館／大規模改修（工事） | 136 |
| H35 | 産振棟（北棟）、肉牛舎／大規模改修（設計） | 26 |
| H36 | 産振棟（北棟）、肉牛舎／大規模改修（工事） | 432 |
| | 計 | 951 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------|---------------|
| H30 | 格技場/大規模改修(設計) | 4 |
| H31 | 格技場/大規模改修(工事) | 55 |
| H31 | 特別教室棟/大規模改修(設計) | 14 |
| H32 | 特別教室棟/大規模改修(工事) | 242 |
| H32 | 管理教室棟/大規模改修(設計) | 16 |
| H33 | 管理教室棟/大規模改修(工事) | 337 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 668 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(八百津高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------------------|
| 施設名称 | 八百津高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県八百津町伊岐味志字小森谷2-8-5 敷地6 |
| 施設延面積 | 6,714.54㎡ |
| 建設年月 | 昭和63年2月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 管理教室棟 | 昭和63年2月 | 2,925.40 | 新耐震基準 | B | C | 平成28年度 |
| 特別教室棟 | 昭和63年2月 | 2,089.14 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 体育館 | 昭和63年5月 | 1,350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 格技場 | 平成1年2月 | 350.00 | 新耐震基準 | C | B | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------------|---------------|
| H30 | 管理教室棟(本館棟)/大規模改修(工事) | 227 |
| H30 | 特別教室棟/大規模改修(設計) | 7 |
| H31 | 特別教室棟/大規模改修(工事) | 91 |
| H33 | 武道場/大規模改修(設計) | 3 |
| H34 | 武道場/大規模改修(工事) | 35 |
| | 計 | 363 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(東濃高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------------|
| 施設名称 | 東濃高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県郡上郡高平町赤坂2854番地1 |
| 施設延面積 | 9,644.03㎡ |
| 建設年月 | 昭和50年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 特別教室棟 | 昭和50年3月 | 3,357.56 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 平成16年3月 | 3,034.83 | 新耐震基準 | C | A | 平成30年度予定 |
| 管理教室棟(本館棟) | 昭和58年3月 | 2,901.64 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 平成5年3月 | 350.00 | 新耐震基準 | B | A | 平成30年度予定 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…緊急に対応する必要がある)

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及びび45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------------------|---------------|
| H29 | 武道場／大規模改修(工事) | 44 |
| H30 | 本館(第一棟)／大規模改修(設計) | 5 |
| H31 | 本館(第一棟)／大規模改修(工事) | 64 |
| H35 | 特別教室棟(家庭科実習棟)／大規模改修(設計) | 4 |
| H36 | 特別教室棟(家庭科実習棟)／大規模改修(工事) | 54 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 計 | 171 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(東濃実業高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------------|
| 施設名称 | 東濃実業高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県加茂郡伏見町字成家畑1156番地1 |
| 施設延面積 | 12,579.48㎡ |
| 建設年月 | 昭和50年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 第2棟 本館(第一棟) | 昭和50年3月 | 4,046.37 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 昭和48年3月 | 3,149.87 | 耐震補強済 | C | C | 平成30年度予定 |
| 特別教室棟(第三棟) | 平成11年11月 | 2,880.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 同窓会館(あすさ館) | 昭和63年5月 | 1,050.86 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 平成13年6月 | 653.54 | 新耐震基準 | C | B | 平成30年度予定 |
| 特別教室棟(家庭科実習棟) | 昭和60年2月 | 350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| | 平成10年3月 | 448.84 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------|---------------|
| H30 | 機械科棟/大規模改修(設計) | 4 |
| H31 | 機械科棟/大規模改修(工事) | 54 |
| H31 | 特別教室/大規模改修(設計) | 7 |
| H32 | 特別教室/大規模改修(工事) | 108 |
| H34 | 体育館/大規模改修(設計) | 13 |
| H35 | 体育館/大規模改修(工事) | 249 |
| | 計 | 435 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)

(可児工業高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | 可児工業高等学校 |
| 所在地 | 可児市上志上字助太郎2358番地1 |
| 施設延面積 | 15,279.01㎡ |
| 建設年月 | 昭和38年8月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 実習棟 | 昭和38年8月 | 2,762.79 | 耐震補強済 | B | B | 平成29年度 |
| 体育館 | 平成9年2月 | 2,742.00 | 新耐震基準 | A | B | 平成29年度 |
| 本館(南舎) | 昭和38年6月 | 2,683.06 | 耐震補強済 | B | B | 平成29年度 |
| 機械科棟(北実習棟) | 昭和16年2月 | 2,406.74 | 新耐震基準 | A | B | 平成29年度 |
| 総合実習棟 | 昭和53年3月 | 1,075.94 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 建築科棟 | 昭和49年3月 | 950.40 | 耐震補強済 | B | B | 平成29年度 |
| 特別教室(環境家庭棟) | 平成5年3月 | 893.74 | 新耐震基準 | B | A | 平成29年度 |
| 武道場 | 昭和47年5月 | 712.60 | 耐震補強済 | A | B | 平成29年度 |
| 電子科棟 | 昭和48年3月 | 605.34 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| 機械科棟 | 昭和61年3月 | 446.40 | 新耐震基準 | B | A | 平成29年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-------------------|---------------|
| 30 | 体育館武道場/大規模改修(設計) | 8 |
| 31 | 体育館武道場/大規模改修(工事) | 105 |
| 32 | 同窓会館/大規模改修(設計) | 5 |
| 33 | 同窓会館/大規模改修(工事) | 77 |
| 33 | クラブハウス/大規模改修(設計) | 5 |
| 34 | クラブハウス/大規模改修(工事) | 69 |
| 35 | 特別校舎、校舎/大規模改修(設計) | 14 |
| 36 | 特別校舎、校舎/大規模改修(工事) | 203 |
| 計 | | 486 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)
(多治見高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校・特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------------|
| 施設名称 | 多治見高等学校 |
| 所在地 | 多治見市坂上町9丁目141番地 |
| 施設延面積 | 9,712.44㎡ |
| 建設年月 | 昭和44年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館(第1号館) | 昭和44年3月 | 3,747.73 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 体育館武道場 | 昭和62年10月 | 1,920.00 | 新耐震基準 | C | C | 平成28年度 |
| 特別教室棟(第3号館) | 昭和60年7月 | 1,112.10 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 特別校舎(第2号館西側) | 昭和43年6月 | 844.37 | 2018年の結果調査済 | C | C | 平成28年度 |
| 校舎(第2号館東側) | 昭和55年3月 | 808.11 | 耐震補強済 | C | C | 平成28年度 |
| 同窓会館(桔梗会館) | 平成2年2月 | 669.57 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| クラブハウス(桔梗がホール) | 平成6年10月 | 610.56 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全の大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|---------------------|---------------|
| 30 | 体育館/大規模改修(設計) | 9 |
| 31 | 体育館/大規模改修(工事) | 104 |
| 32 | 武道場、特別教室棟/大規模改修(設計) | 7 |
| 32 | 武道場、特別教室棟/大規模改修(工事) | 90 |
| 34 | 産振校舎/大規模改修(設計) | 21 |
| 35 | 産振校舎/大規模改修(工事) | 473 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 704 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(土岐商業高等学校)

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校、特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|---------------------|
| 施設名称 | 土岐商業高等学校 |
| 所在地 | 土岐市土岐郡町土岐口字南山1262番地 |
| 施設延面積 | 10,255.82㎡ |
| 建設年月 | 昭和54年11月 |
| 構造階数 | 新築コンクリート造 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館棟 | 昭和54年11月 | 4,166.31 | 耐震補強済 | B | C | 平成28年度 |
| 産振校舎 | 昭和49年3月 | 3,929.67 | 耐震補強済 | A | C | 平成28年度 |
| 体育館 | 昭和60年3月 | 1,350.00 | 新耐震基準 | B | D | 平成28年度 |
| 武道場 | 平成6年3月 | 350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 特別教室棟 | 平成6年3月 | 459.84 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-----------------|---------------|
| 30 | 武道場/大規模改修(設計) | 3 |
| 31 | 武道場/大規模改修(工事) | 38 |
| 32 | 特別教室棟/大規模改修(設計) | 12 |
| 33 | 特別教室棟/大規模改修(工事) | 205 |
| 33 | 本館棟/大規模改修(設計) | 19 |
| 34 | 本館棟/大規模改修(工事) | 411 |
| 36 | 体育館/大規模改修(設計) | 9 |
| | 計 | 697 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)

(恵那南高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 恵那南高等学校 |
| 所在地 | 恵那市明智町大字大庭4-1番地2 |
| 施設延面積 | 8,591.87㎡ |
| 建設年月 | 昭和44年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館棟(管理教室棟) | 昭和44年3月 | 3,382.05 | 耐震補強済 | A | B | 平成28年度 |
| 総合学科棟 | 平成20年3月 | 1,704.51 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 特別教室棟 | 昭和56年3月 | 1,698.70 | 耐震補強済 | A | B | 平成28年度 |
| 体育館 | 平成10年9月 | 1,456.61 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| 武道場 | 平成2年3月 | 350.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-------------------|---------------|
| 29 | 土木校舎/大規模改修(工事) | 67 |
| 29 | 特別棟/大規模改修(設計) | 4 |
| 30 | 体育館/大規模改修(設計) | 8 |
| 31 | 体育館、特別棟/大規模改修(工事) | 193 |
| 31 | 園芸棟/大規模改修(設計) | 8 |
| 32 | 園芸棟/大規模改修(工事) | 123 |
| | 計 | 403 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(恵那農業高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------------|
| 施設名称 | 恵那農業高等学校 |
| 所在地 | 恵那市大井町字上ヶヶ根2-2-5番地17 |
| 施設延面積 | 9,845.76㎡ |
| 建設年月 | 昭和43年5月 |
| 構造階数 | 教育棟新コンクリート造 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和43年5月 | 1,725.04 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 体育館 | 平成9年2月 | 2,758.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 第2校舎(産院第一棟) | 昭和42年3月 | 1,657.55 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 第3校舎(産院第三棟) | 昭和52年3月 | 1,029.51 | 診断の結果問題発生有 | C | D | 平成28年度 |
| 園芸棟(産院第二棟) | 昭和46年2月 | 1,026.00 | 耐震補強済 | C | D | 平成28年度 |
| 実習棟(産院第四棟) | 昭和56年3月 | 799.66 | 診断の結果問題発生有 | A | B | 平成28年度 |
| 特別棟(産院第五棟) | 昭和59年2月 | 500.00 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| 武道場 | 昭和53年12月 | 350.00 | 診断の結果問題発生有 | A | A | 平成28年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全の大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|---------------------|---------------|
| 29 | 西実習棟/大規模改修(工事) | 64 |
| 30 | 屋体武道場/大規模改修(設計) | 8 |
| 31 | 屋体武道場/大規模改修(工事) | 103 |
| 31 | 特別教室棟/大規模改修(設計) | 5 |
| 32 | 特別教室棟/大規模改修(工事) | 76 |
| 33 | 北実習棟・東実習棟/大規模改修(設計) | 18 |
| 34 | 北実習棟・東実習棟/大規模改修(工事) | 393 |
| | 計 | 667 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(中津川工業高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | 中津川工業高等学校 |
| 所在地 | 中津川市千旦林字坂本1521番地3 |
| 施設延面積 | 13,296.45㎡ |
| 建設年月 | 昭和39年12月 |
| 構造階数 | 新築コンクリート造 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 第2校舎(実験実習棟) | 昭和39年12月 | 2,981.64 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 本館 | 昭和39年1月 | 2,529.91 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 北実習棟・東実習棟(特別教室) | 平成17年3月 | 3,375.56 | 新耐震基準 | A | B | 平成30年度予定 |
| 屋体武道場 | 平成6年10月 | 2,400.00 | 新耐震基準 | C | C | 平成30年度予定 |
| 実習棟(西実習棟) | 昭和51年3月 | 1,353.37 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 特別教室棟(南実習棟) | 昭和63年3月 | 655.97 | 新耐震基準 | A | D | 平成30年度予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。

なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------|---------------|
| H29 | 本館/内部改修(工事) | 34 |
| H32 | 有斐会館/大規模改修(設計) | 6 |
| H33 | 有斐会館/大規模改修(工事) | 80 |
| H35 | 特別教室棟/大規模改修(設計) | 17 |
| H36 | 特別教室棟/大規模改修(工事) | 307 |
| | 計 | 444 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(斐太高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 斐太高等学校 |
| 所在地 | 高山市三郷町字七切736番地 |
| 施設延面積 | 10,076.68㎡ |
| 建設年月 | 昭和57年3月 |
| 構造 | 鉄骨コンクリート造 |
| | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館(管理教室棟) | 昭和57年3月 | 4,712.90 | 新耐震基準 | A | B | 平成29年度 |
| 特別教室棟 | 昭和48年3月 | 2,551.10 | 耐震補強済 | C | B | 平成29年度 |
| 屋内体育館 | 平成4年6月 | 1,472.04 | 新耐震基準 | B | A | 平成29年度 |
| 有斐会館 | 昭和60年10月 | 693.84 | 新耐震基準 | A | B | 平成29年度 |
| 武道場 | 昭和48年12月 | 646.80 | 耐震補強済 | A | A | 平成29年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | (岡本校舎) | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|------------------|--------|---------------|
| H29 | 武道場/大規模改修 | (設計) | 3 |
| H30 | 武道場/大規模改修 | (工事) | 45 |
| H31 | 家庭科実習棟/大規模改修 | (設計) | 3 |
| H32 | 体育館/大規模改修 | (工事) | 41 |
| H33 | 体育館/大規模改修 | (設計) | 8 |
| | (山田校舎) | | 136 |
| H29 | 産振第1棟、武道場/大規模改修 | (工事) | 26 |
| H29 | 本館校舎、産振第2棟/大規模改修 | (設計) | 9 |
| H30 | 武道場/大規模改修 | (工事) | 221 |
| H30 | 本館校舎/大規模改修 | (工事) | 57 |
| H31 | 産振第2棟/大規模改修 | (工事) | 102 |
| H31 | 体育館、産振第3棟/大規模改修 | (設計) | 15 |
| H32 | 体育館、産振第3棟/大規模改修 | (工事) | 241 |
| H34 | 寄宿舎/大規模改修 | (設計) | 7 |
| H35 | 寄宿舎/大規模改修 | (工事) | 99 |
| | | 計 | 1013 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画(案)
(飛騨高山高等学校 (岡本・山田校舎))

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------------|
| 施設名称 | 飛騨高山高等学校 (岡本・山田校舎) |
| 所在地 | 高山市下岡本町2000番地30 他 |
| 施設延面積 | 26,330.73㎡ |
| 建設年月 | 昭和56年4月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 岡本：体育館 | 昭和56年4月 | 10,701.14 | 耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 岡本：武道場 | 昭和57年3月 | 1,350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 岡本：特別教室 (家庭科実習棟) | 昭和58年12月 | 350.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 山田：産振第1棟 | 平成53年3月 | 446.58 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| 山田：本館校舎 | 昭和48年3月 | 3,923.73 | 耐震補強済 | C | D | 平成20年度予定 |
| 山田：産振第2棟 | 昭和47年3月 | 3,730.45 | 耐震補強済 | B | C | 平成20年度予定 |
| 山田：体育館 | 昭和48年3月 | 1,550.43 | 耐震補強済 | C | C | 平成20年度予定 |
| 山田：産振第3棟 | 昭和49年3月 | 1,350.00 | 耐震補強済 | B | B | 平成20年度予定 |
| 山田：寄宿舎 (秀峰寮) | 昭和48年3月 | 793.35 | 耐震補強済 | C | C | 平成20年度予定 |
| 山田：武道場 | 昭和55年3月 | 786.00 | 診断の結果耐震性不 | C | C | 平成20年度予定 |
| 山田：牛舎 | 昭和54年8月 | 742.00 | 診断の結果耐震性不 | C | C | 平成20年度予定 |
| 山田：牛舎 | 平成19年12月 | 607.05 | 新耐震基準 | A | A | 平成20年度予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------|---------------|
| H29 | 産振北校舎/大規模改修(工事) | 184 |
| H29 | 体育館/大規模改修(設計) | 6 |
| H30 | 体育館/大規模改修(工事) | 117 |
| H30 | 東棟/大規模改修(設計) | 3 |
| H31 | 東棟/大規模改修(工事) | 35 |
| H35 | 西棟/大規模改修(設計) | 7 |
| H36 | 西棟/大規模改修(工事) | 103 |
| | 計 | 455 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(高山工業高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------|
| 施設名称 | 高山工業高等学校 |
| 所在地 | 高山市千鳥町291番地1 |
| 施設延面積 | 14,628.04㎡ |
| 建設年月 | 昭和54年12月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館棟 | 昭和54年12月 | 3,853.78 | 耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 北棟(産振北校舎) | 昭和50年3月 | 3,145.26 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 南棟(産振校舎) | 昭和47年3月 | 2,411.16 | 耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 体育館 | 昭和63年6月 | 1,350.00 | 新耐震基準 | C | C | 平成28年度 |
| 南棟(2棟西校舎) | 昭和49年6月 | 1,093.25 | 耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 西棟(特別教室棟) | 平成7年3月 | 909.45 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 東棟(特別教室) | 平成3年3月 | 801.11 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| 常宿舎(秀岳寮) | 平成1年3月 | 714.03 | 新耐震基準 | A | C | 平成28年度 |
| 武道場 | 昭和53年3月 | 350.00 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対処する必要がある)

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------|---------------|
| H30 | 教室棟/大規模改修(設計) | 4 |
| H31 | 教室棟/大規模改修(工事) | 48 |
| H31 | 体育館/大規模改修(設計) | 8 |
| H32 | 体育館/大規模改修(工事) | 136 |
| H33 | 管理棟/大規模改修(設計) | 18 |
| H34 | 管理棟/大規模改修(工事) | 389 |
| H35 | 武道場/大規模改修(設計) | 3 |
| H36 | 武道場/大規模改修(工事) | 39 |
| 計 | | 645 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(吉城高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|-------------------|
| 施設名称 | 吉城高等学校 |
| 所在地 | 飛騨市古川町上気字釋1987番地2 |
| 施設延面積 | 7,626.29㎡ |
| 建設年月 | 昭和51年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|---------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館(管理棟) | 昭和51年3月 | 3,214.23 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 校舎(教室棟) | 昭和50年6月 | 2,712.06 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 昭和52年2月 | 1,350.00 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 昭和55年12月 | 350.00 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-------------------|---------------|
| H29 | 体育館/大規模改修(工事) | 119 |
| H30 | 武道場/大規模改修(設計) | 4 |
| H31 | 武道場/大規模改修(工事) | 53 |
| H34 | ゼミナール棟/大規模改修(設計) | 18 |
| H35 | ゼミナール棟/大規模改修(工事) | 379 |
| H36 | アスレチック棟/大規模改修(設計) | 6 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 579 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(飛騨神岡高等学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------------|
| 施設名称 | 飛騨神岡高等学校 |
| 所在地 | 飛騨市神岡町小字西畑内2138番地2 |
| 施設延面積 | 11,578.08㎡ |
| 建設年月 | 昭和51年3月 |
| 構造 | 鉄骨コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|---------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 管理教室棟 | 昭和51年3月 | 5,469.58 | 耐震補強済 | B | B | 平成28年度 |
| 総合資料棟(ゼミナール棟) | 平成10年9月 | 2,901.44 | 新耐震基準 | A | B | 平成28年度 |
| 体育館 | 昭和59年3月 | 1,350.00 | 耐震補強済 | A | A | 平成28年度 |
| 寄宿舎 | 昭和59年3月 | 880.06 | 新耐震基準 | A | D | 平成28年度 |
| アスレチック棟 | 平成10年9月 | 627.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成28年度 |
| 武道場 | 昭和57年1月 | 350.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、C…早急に対応する必要がある
D…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の見え、D…早急に対応する必要がある)

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況を調査し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
 （華陽フロンティア高等学校）

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 華陽フロンティア高等学校 |
| 所在地 | 岐阜県市西陽6丁目69番地1 |
| 施設延面積 | 10,155.18㎡ |
| 建設年月 | 昭和39年5月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|--------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和39年5月 | 3,496.25 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 体育館 | 平成16年2月 | 2,269.18 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 南館（本館） | 昭和48年3月 | 2,041.15 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 西館 | 昭和49年3月 | 1,386.94 | 耐震補強済 | A | A | 平成30年度予定 |
| 給食棟 | 平成12年3月 | 611.66 | 新耐震基準 | B | A | 平成30年度予定 |
| 武道場 | 昭和57年2月 | 350.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
 C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
 なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

本館（昭和39年5月建築）については、平成41年に建築から65年を迎えるが、建物躯体の老朽化が著しいため、学校運営における安全確保のためにも改築工事を実施する。

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------|---------------|
| H29 | 武道場/大規模改修(設計) | 3 |
| H30 | 武道場/大規模改修(工事) | 60 |
| H34 | 西館/大規模改修(設計) | 10 |
| H35 | 西館/大規模改修(工事) | 168 |
| H36 | 給食棟/大規模改修(設計) | 6 |
| H30 | 本館/基本計画策定 | 2 |
| H32 | 本館/プロポーザル | 7 |
| H33 | 本館/設計 | 102 |
| H34 | 本館/改築工事 | 426 |
| H35 | 本館/改築工事 | 995 |
| H36 | 本館/解体工事 | 207 |
| | 計 | 1,986 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|---------------------|---------------|
| H29 | 特別教室棟／内部部分改修（設計・工事） | 11 |
| H36 | 本館棟／大規模改修（設計） | 13 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 計 | 24 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
（長良特別支援学校）

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 長良特別支援学校 |
| 所在地 | 岐阜県市長良字尾花1243番地1 |
| 施設延面積 | 2,913.38㎡ |
| 建設年月 | 昭和54年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 2階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館棟 | 昭和54年3月 | 1,772.56 | 診断の結果耐震性有 | C | B | 平成29年度 |
| 特別教室棟 | 昭和56年3月 | 823.37 | 診断の結果耐震性有 | B | B | 平成29年度 |
| 東棟 | 平成20年9月 | 317.45 | 新耐震基準 | B | A | 平成29年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全の大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------------|---------------|
| H31 | 小中学部棟、屋内体育館／大規模改修(設計) | 14 |
| H32 | 小中学部棟、屋内体育館／大規模改修(工事) | 219 |
| H33 | 本館、特別教室／大規模改修(設計) | 18 |
| H34 | 本館、特別教室／大規模改修(工事) | 283 |
| H35 | 寄宿舎／大規模改修(設計) | 16 |
| H35 | 寄宿舎／大規模改修(工事) | 286 |
| | 計 | 836 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(大垣特別支援学校)

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 大垣特別支援学校 |
| 所在地 | 大垣市西大外羽1丁目222番地1 |
| 施設延面積 | 11,151.54㎡ |
| 建設年月 | 昭和48年8月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 2階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|--------------|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館(A棟) | 昭和48年8月 | 1,721.05 | 耐震補強済 | B | C | 平成30年度予定 |
| 寄宿舎 | 昭和49年3月 | 2,199.88 | 耐震補強済 | B | C | 平成30年度予定 |
| 高等部棟(E棟) | 昭和56年3月 | 1,299.04 | ※別の結果照会済 | A | B | 平成30年度予定 |
| 小学部棟(C棟) | 昭和49年3月 | 1,042.41 | ※別の結果照会済 | B | C | 平成30年度予定 |
| 高等部北校舎(管理棟) | 昭和58年3月 | 838.25 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 普通教室棟(O棟) | 昭和62年3月 | 715.32 | 新耐震基準 | A | A | 平成30年度予定 |
| 屋内体育館 | 昭和51年3月 | 568.30 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 実習棟2(職業棟1) | 昭和58年3月 | 525.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 実習棟3(職業棟2) | 昭和58年3月 | 522.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 特別教室棟(B棟) | 昭和49年3月 | 503.52 | 耐震補強済 | B | B | 平成30年度予定 |
| 実習棟1(高等部教室棟) | 昭和58年3月 | 371.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 実習棟4 | 昭和59年1月 | 397.77 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |
| 北校舎体育館 | 昭和59年1月 | 448.00 | 新耐震基準 | B | B | 平成30年度予定 |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画（案）
 （恵那特別支援学校）

施設類型 高等学校・特別支援学校

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------------|
| 施設名称 | 恵那特別支援学校 |
| 所在地 | 恵那市岩村町岩村科学館町133番地3 |
| 施設延面積 | 8,823.43㎡ |
| 建設年月 | 昭和50年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 4階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|-----|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和50年3月 | 3,861.92 | 耐震補強済 | C | A | 平成28年度 |
| 体育館 | 平成10年2月 | 2,400.00 | 新耐震基準 | C | C | 平成28年度 |
| 東館 | 平成22年3月 | 2,211.51 | 新耐震基準 | A | C | 平成28年度 |
| 武道場 | 昭和63年1月 | 350.00 | 新耐震基準 | C | A | 平成28年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
 C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全的大規模改修工事を実施する。
 なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況等を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|---------------|---------------|
| 29 | 武道場/大規模改修(設計) | 3 |
| 30 | 武道場/大規模改修(工事) | 78 |
| 31 | 本館/大規模改修(設計) | 21 |
| 32 | 本館/大規模改修(工事) | 467 |
| 35 | 体育館/大規模改修(設計) | 14 |
| 36 | 体育館/大規模改修(工事) | 249 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 832 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|----------------|---------------|
| H29 | 本館/EV棟新設等(設計) | 7 |
| H31 | 本館/EV棟新設等(工事) | 170 |
| H32 | 屋体棟/大規模改修(設計) | 4 |
| H33 | 屋体棟/大規模改修(工事) | 53 |
| H33 | 高等部棟/大規模改修(設計) | 14 |
| H34 | 高等部棟/大規模改修(工事) | 243 |
| | | |
| | | |
| | 計 | 491 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)

(飛騨特別支援学校(本校))

| | |
|------|-------------|
| 施設類型 | 高等学校、特別支援学校 |
|------|-------------|

1 施設の概要

| | |
|-------|--------------|
| 施設名称 | 飛騨特別支援学校(本校) |
| 所在地 | 高山市山田町82番地4 |
| 施設延面積 | 4,557.32㎡ |
| 建設年月 | 平成2年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|------|---------|------------|-----------------------------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 高等部棟 | 平成2年3月 | 1,804.82 | 新耐震基準 | B | B | 平成29年度 |
| 本館 | 昭和54年3月 | 1,364.50 | 旧耐震基準 <small>3階の部は耐震診断</small> | A | A | 平成29年度 |
| 中学部棟 | 平成19年1月 | 868.00 | 新耐震基準 | A | A | 平成29年度 |
| 屋体棟 | 平成2年3月 | 520.00 | 新耐震基準 | B | A | 平成29年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

建物の長寿命化を図る観点から、建築後25年目及び45年目を基準として、予防保全の大規模改修工事を実施する。
なお、大規模改修工事にあたっては建物劣化状況を勘案し、実施時期を決定する。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(南飛騨健康増進センター)

1 施設の概要

| | |
|-------|----------------|
| 施設名称 | 南飛騨健康増進センター |
| 所在地 | 下呂市萩原町西美1587-3 |
| 施設延面積 | 1,560.62㎡ |
| 建設年月 | 平成15年 5月 |
| 構造階数 | 鉄筋コンクリート造 2階建て |

| | |
|------|--------|
| 施設類型 | その他の施設 |
|------|--------|

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----------------------------|----------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 南飛騨健康増進センター (B5号棟内所、B5号棟外) | 平成15年 5月 | 1,560.62 | 新築済基準 | A | C | H29.10.1 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある)

3 維持保全に係る対応方針

- (1) 基本的な方針
・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効率的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの縮減に努める。
- (2) その他特記事項

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|-----------------------------|---------------|
| H35 | 空気調和設備 空気調和機(エアハンドリングユニット等) | 8 |
| H35 | 空気調和設備 ポンプ類 | 1 |
| H35 | 給排水衛生設備 ポンプ類 | 4 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 計 | 13 |

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|-----|------------------|---------------|
| H30 | 電力設備 | 4 |
| H30 | 高圧受電設備 | 9 |
| H30 | 通信情報設備(自動火災報知装置) | 3 |
| H31 | 外壁改修 | 9 |
| H31 | 空気調和設備 | 39 |
| H31 | 給排水衛生設備 | 39 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | 計 | 103 |

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画(案)
(大垣看護専門学校)

| | |
|------|----------|
| 施設類型 | その他の普通財産 |
|------|----------|

1 施設の概要

| | |
|-------|-----------|
| 施設名称 | 大垣看護専門学校 |
| 所在地 | 大垣市緑園129 |
| 施設延面積 | 1,404.82㎡ |
| 建設年月 | 昭和54年3月 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 |
| 階数 | 3階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等 の結果 | 主要部位の状態 | | 点検の 実施時期 |
|----|---------|------------|--------------|---------|----|-------------|
| | | | | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 本館 | 昭和54年3月 | 1,404.82 | 耐震補強済 | A | D | 平成30年度 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)、
C…部分的に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

(1) 基本的な方針

・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で徹底的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。

(2) その他特記事項

| |
|--|
| |
|--|

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設設計画（案）
（岐阜県魚苗センター美濃事業所）

施設類型 その他の普通財産

1 施設の概要

| | |
|-------|------------------|
| 施設名称 | 岐阜県魚苗センター美濃事業所 |
| 所在地 | 美濃市生穂字上ボタ下1486番4 |
| 施設延面積 | 2,909.52㎡ |
| 建設年月 | 昭和47年3月 |
| 構造 | 鉄骨鉄骨造 |
| 階数 | 1階建て |

2 対象建物と主要部位の状態

| 名称 | 建設年月 | 延面積 (㎡) | 耐震診断等の結果 | | 主要部位の状態 | | 点検の実施時期 |
|----------|----------|------------|----------|----|---------|----|---------|
| | | | 屋上・屋根 | 外壁 | 屋上・屋根 | 外壁 | |
| 飼育棟 (C棟) | 昭和47年3月 | 1,251.28 | C | C | C | | |
| 飼育棟 (A棟) | 平成14年11月 | 1,658.24 | A | A | A | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

【凡例】 A…概ね良好、B…部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）、
C…部分的に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し、D…早急に対応する必要がある

3 維持保全に係る対応方針

- (1) 基本的な方針
・建物や付随する設備に不具合・故障が生じる以前に、修繕又は交換し、機能・性能を所定の状態に維持する予防保全の考え方を取り入れる。
・点検・診断結果等を基に、計画的で効果的な維持保全に努めるとともに、建物の平均使用年数の延長やライフサイクルコストの削減に努める。
- (2) その他特記事項
-

4 対策の内容と実施時期、概算費用

| 年度 | 修繕等の内容 | 概算費用 (百万円) |
|----|-----------------------|---------------|
| 30 | 管理棟改修実施設計業務 | 1 |
| 30 | 受電設備改修工事 | 12 |
| 31 | 受電設備改修工事 | 12 |
| 31 | 管理棟改修(外壁・屋根・設備)工事 | 18 |
| 32 | 飼育棟(C棟)改修(建屋・電気・設備)工事 | 3 |
| 33 | 飼育棟(C棟)改修(建屋・電気・設備)工事 | 71 |
| 33 | 給水設備改修実施設計業務 | 3 |
| 34 | 給水設備改修工事 | 11 |
| 34 | 給水設備改修実施設計業務 | 3 |
| 35 | 給水設備改修工事 | 21 |
| 35 | 給水設備改修実施設計業務 | 4 |
| 36 | 加温設備改修工事実施設計業務 | 3 |
| 36 | 加温設備改修工事 | 25 |
| | 計 | 258 |

